

村から山手にさらに1ファルサングほどのバークが広がる中。街道右手脇の低い丘の上。廟の前にハウス。(写真 320)

オリジナルはサファヴィー朝時代まで遡ると考えられるが、近年、改修が行われ、ドームに漏水防止の措置を施し、壁を煉瓦で補強するなどした。

以前は廟の周囲にも民家があり、人が住んでいたが、現在は村に住むようになったため、建物を整理して廟だけを残したとのこと。木曜日の午後のみ扉を開けるが、夏は各地から人が集まってくるため開放している。また、ズィヤーラトの人々のため、トイレや台所などの設備も整えているところである。

入り口を入ってすぐの左手に、ガラスケースに入ったシャーザーデ・ホセインの寄せ木のサンドウグ<sup>204</sup>。右手がシャーザーデ・モハンマド。その奥の右手がロガイエ・ハートゥーン、左手がサキーネ・ハートゥーン。(写真 321~324)

## 8. キャハク区ネイザール地区の聖所 (Bakhshe Kahak – Dehestāne Neizār)

ゴム-エスファハーン街道沿いの地域。街道沿いを走るゴムルード川の水とガナートによる畑作農業が行われてきた。キャハク区の中では標高が比較的的低く、平坦なことから、果樹栽培よりも畑作の割合が高い。

### (84) امامزاده معين (Emāmzāde Mo'ayyen)

Bakhshe Kahak – Dehestāne Neizār – Rūstāye Khalaj ābād

(北緯 34 度 29 分 08 秒 東経 50 度 39 分 37 秒 標高 1125 メートル)

Emāmzāde Mo'ayyen al-Dīn Nāṣer b. Abū al-Ma'ālī b. Moḥammad b. Moḥammad b. Ḥasan b. Abū al-Qāsem b. Ḥamze b. Moḥammad b. Moḥammad b. Ja'far b. 'Īsā b. 'Alī Aṣghar b. Ḥosein b. Emām Zein al-'Ābedīn<sup>205</sup>

村から離れた畑の中にある、緑に塗られた大きなドームを持つ廟。廟の周囲には墓地が広がる。(写真 325,326)

古い廟を取り壊して新しい廟を建築中。オリジナルの廟はガージャール朝後半期のものとされる<sup>206</sup>。

ハラムにはアルミ製のザリーが置かれている。(写真 327)

### (85) امامزاده خدیجه خاتون (Emāmzāde Khadije Khātūn)

Moḥammad, Aḥmad, Zeinab, Ḥalīme [Nāṣer al-Sharī'e]

Moḥammad, Ḥosein, Ḥalīme Khātūn, Zeinab Khātūn az ahfāde Emām Mūsā al-Kāzem [Pazhūheshgāh : p.105, Noubān : 92 ]

<sup>204</sup> 16世紀のものとされる。[Tabātabāī 2 : 197]

<sup>205</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによる。

<sup>206</sup> [Tabātabāī 2 : 207]によると、特に名前はなく、エマームザーデとのみ呼ばれている。

**Bakhshe Kahak – Dehestāne Neizār – Rūstāye Khadije Khātūn**

(北緯 34 度 28 分 09 秒 東経 50 度 39 分 15 秒 標高 1143 メートル)

**Emānzāde Khadije Khātūn b. Emām Ja'far<sup>207</sup>**

ゴムから 5 ファルサング南、街道から村へ入ってすぐの墓地の中。廟の周囲には古くからの墓地が広がっている。廟の傍らを Anār 川が通っているが、季節以外は、水は涸れている。

角錐ドームを持つ塔状の古い廟。ガージャール朝期に増改築が行われているが、現在はドームのタイルはほとんど落ちてしまっている。この廟は、770/1368-9 年に Giyās al-Dīn Moḥammad の命によって建てられたもの<sup>208</sup>。新たに補修が始まっている。(写真 328,329)

ハラムはギャッチボリーが施されており、狭いハラムいっぱいになるほどのアルミ製ザリーが置かれている。(写真 330,331)

**(86) امامزاده ابراهيم (Emānzāde Ebrāhīm)<sup>209</sup>**

**Bakhshe Kahak – Dehestāne Neizār – Rūstāye Khadije Khātūn**

(北緯 34 度 28 分 07 秒 東経 50 度 39 分 20 秒 標高 1140 メートル)

街道から村へ入る直前のビヤバーンの中。

低いドームを持つ小さな塔状の廟。それほど古いものではない<sup>210</sup>。(写真 332,333)

ハラムは周囲よりも 30 センチメートルほど低くなっている。ハラムは緑の布をかけた、ザリーを持たない大きな墓石が置かれている。(写真 334,335)

**(87) امامزاده زكريا (Emānzāde Zakariyā)<sup>211</sup>**

**Bakhshe Kahak – Dehestāne Neizār – Rūstāye Khadije Khātūn**

(北緯 34 度 28 分 06 秒 東経 50 度 39 分 17 秒 標高 1143 メートル)

エマームザーデ・エブラーヒームとは道路を挟んで向かい側。ハディージェ・ハートゥーンと隣接した敷地の中。

以前の廟を取り壊し、新しい廟を建築中。建設途中の廟内に、緑の布をかけた墓石が置かれている。(写真 336~338)

**(88) امامزاده عبدالله (Emānzāde 'Abdollāh)**

**Bakhshe Kahak – Dehestāne Neizār – Jādde Qadīme Eṣfahān - Rūstāye Qal'e Cham**

(北緯 34 度 22 分 34 秒 東経 50 度 36 分 02 秒 標高 1223 メートル)

**Emānzāde 'Abdollāh b. Emām Mūsā al-Kāzem<sup>212</sup>**

<sup>207</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emānzāde Khadije Khātūn b. Mahdī b. Moḥammad b. Ḥosein b. 'Alī b. Ḥosein b. 'Īsā b. Moḥammad b. 'Alī b. Emām Ja'far である。

<sup>208</sup> [Pazhūheshgāh : 273, Ṭabātabāī 2 : 202-206, Ejtehādī 1 : 194-195]

<sup>209</sup> 一説には Shāhzāde Ebrāhīm va Shāhzāde Esmā'īl. [Ṭabātabāī 2 : 206]

<sup>210</sup> [Ṭabātabāī 2 : 206]

<sup>211</sup> [Ṭabātabāī 2 : 206]

<sup>212</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emānzāde 'Abdollāh b. Ḥosein b. 'Alī b. Moḥammad

エスファハーン街道沿いに建つ廟。ガルエ・チャムから1キロメートルほどエスファハーン寄り。

街道を挟んだ向かいに古い墓地が広がり、廟の横手にはゴムロード川が流れている。

街道を往来する人がズィヤーラトや礼拝のために足を止めるなど、訪れる人が多い。そのため、廟の増改築が常に行われ、ズィヤーラトの人々のための施設も整えられている。(写真 339~341)

三方を礼拝などに使われるサロンに囲まれたハラムにはエスファハーン型のザリー。(写真 342)

1324/1906-7年にある人物が見た夢に従って発見されたエマームザーデ<sup>213</sup>。

### (89) امامزادگان یحیی و حلیمه خاتون (Emāmzādegān Yahyā va Ḥalīme Khātūn)

Bakhshe Kahak – Dehestāne Neizār – Rūstāye ‘Alī ābād

(北緯 34 度 16 分 32 秒 東経 50 度 41 分 27 秒 標高 1713 メートル)

Emāmzādegān Yahyā va Ḥalīme Khātūn az farzandāne Emām Moḥammad Taqī<sup>214</sup>

村から3キロメートルほど山手に入った山陰に建つ廟。(写真 343)

廟は近年立て替えられた新しいもの。ハラムにはアルミ製のザリーが置かれている。(写真 344,345)

廟の裏手にガナートで引かれた水が湧き出している。このガナートの水はゴム市内でも売られているとのこと。(写真 346)

廟の前にはズィヤーラトの人々のための水くみ場やトイレ、台所などが作られている。夏になるとテントを持った人々が泊まりがけでやって来る。

### (90) امامزاده ساریه خاتون (Emāmzāde Sāriye Khātūn)

Bakhshe Kahak – Dehestāne Neizār – Rūstāye Sāriye Khātūn

(北緯 34 度 13 分 01 秒 東経 50 度 31 分 36 秒 標高 1340 メートル)

Emāmzāde Sāriye Khātūn b. Zahrā b. ‘Alī b. Moḥammad b. ‘Abdollāh b. Moḥammad b. ‘Alī b. ‘Abdollāh b. Ḥasan b. Moḥammad b. ‘Abdollāh b. Moḥammad b. ‘Abdollāh b. Ḥasan b. Emām Ḥasan Mojtābā<sup>215</sup>

村の入り口脇にある大きな墓地の中。(写真 347,348)

近年、増改築が行われ、ドームを持つ塔状の廟の周囲に、ホセイニーエなどを兼ねる部屋が増築され、台所などの設備が整えられている。オリジナルの廟であるドームとその下の塔状の部分はそのまま残され、ハラムとなっている<sup>216</sup>。(写真 349,350)

b. Emām Ja‘far である。

<sup>213</sup> [Tabātabāī 2: 207]

<sup>214</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emāmzādegān Yahyā va Ḥalīme Khātūn farzandāne Moḥammad b. Mūsā b. Aḥmad b. Moḥammad b. Aḥmad b. Mūsā al-Mobarreqe‘ b. Emām Moḥammad al-Taqī である。

<sup>215</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによる。

ハラムには緑の布をかけたアルミ製ザリーが置かれている。

**(91) امامزاده غائب (Emāmzāde Ghā'eb)**

Bakhshe Kahak – Dehestāne Neizār – Rūstāye Heṣār Sorkh

(北緯 34 度 20 分 42 秒 東経 50 度 31 分 11 秒 標高 1298 メートル)

街道沿いの小さな村の外れに建つ廟。周囲には墓地。廟の前にはガナートの水が引かれたホウズがあり、村の女性たちがその流出口で水仕事を行っているのを見ることができる。(写真 351~353)

廟は古いものを取り壊し、青いタイル張りの丸ドームを持つ新しい廟を建築中。

被埋葬者については *Seyyed Moḥammad* という人物であると言われている<sup>217</sup>。

広いハラムにはエスファハーン型のザリー。(写真 354)

**9. ハルジェスターン区ダストジェルド地区 (Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Dastjerd)**

ハルジェスターンは、ゴム市の南西部地域。Dastjerd と Qāhān の二つの地区からなる。双方とも農業が主要産業であり、山岳地帯にあることから果実栽培が主要な作物である。また、羊と山羊を中心とした畜産も古くから盛んに行われている。最近では、花卉栽培も行われ始めている。

この地域ではトルコ語を使用する村が多い。

**(92) امامزاده ابراهيم (Emāmzāde Ebrāhīm)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Dastjerd – Rūstāye Dastjerd

(北緯 34 度 33 分 05 秒 東経 50 度 15 分 10 秒 標高 1764 メートル)

村の古い住宅が並ぶ一角のはずれに建つ廟。(写真 355,356) 小道を挟んでバークが広がる。

土と煉瓦のドームを持つ塔状の廟。ドームと壁の一部は崩れ、穴が開いている。

村の小路の角に建ち、二方向に出入り口がある。バーク側の出入り口から入ると小さな墓地があり、墓地と廟の間にチェナルの巨木がそびえる。(写真 357~360)

ハラムにはザリーを持たない、比較的小さな墓石が置かれている。(写真 361)

**(93) امامزاده زكريا (Emāmzāde Zakariyā)**

<sup>216</sup> [Tabātabāī 2: 209-211]

<sup>217</sup> [Tabātabāī 2: 208] ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emāmzāde Moḥammad b. 'Abbās b. 'Abdollāh b. Ḥasan al-Afṭas b. 'Alī Aṣghar b. Emām Zein al-'Ābedīn で、テヘランのシャフレ・レイに廟があるエマームザーデ・アブドッラーの甥に当たる。[清水・上岡: 37-38]

**Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Dastjerd – Rūstāye Meidānak**

(北緯 34 度 32 分 18 秒 東経 50 度 15 分 50 秒 標高 1720 メートル)

**Emānzāde Zakariyā az navādegane Emām Ja'far<sup>218</sup>**

二股に分かれた街道の分岐点に建つ廟。廟の脇を枯れ川が流れており、その川岸から 5 メートルほどの高さに堤防が築かれ、廟はその上に建てられている<sup>219</sup>。(写真 362,363)

サファヴィー朝後期からガージャール朝時代の廟<sup>220</sup>。青いタイルを貼ったドームを持つ塔状の廟。ドームや壁面に貼られていたタイルは一部剥落している。改修のための準備は行われているが、実施はされていなかった。廟を囲むようにしてホジュレが見られ、この囲いの中と、街道を挟んだ南側に墓地が広がっている。(写真 364)

ハラムには金属製のザリーが置かれ、天井には彩色画が見られる。(写真 365,366)

**(94) امامزاده شاهزاده جعفر (Emānzāde Shāhzāde Ja'far)**

**Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Dastjerd – Rūstāye Gīv**

(北緯 34 度 32 分 48 秒 東経 50 度 16 分 18 秒 標高 1695 メートル)

**Emānzāde Ja'far b. Emām Mūsā al-Kāzem<sup>221</sup>**

村の中の墓地の一角。

古い廟を取り壊して建てられた新しい廟。オリジナルの廟はサファヴィー朝に遡ると考えられている<sup>222</sup>。(写真 367)

廟の前、墓地の入り口近くにチェナールの巨木。その根本を、ガナートから引かれた水の水路が流れている。

ハラムには、緑の布をかけた木製のザリーが置かれている。(写真 369)

**(95) امامزاده شعیب (Emānzāde Sho'eib)**

**Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Dastjerd – Rūstāye Varzane**

(北緯 34 度 34 分 13 秒 東経 50 度 19 分 27 秒 標高 1602 メートル)

**Emānzāde Solṭān Sho'eib b. Emām Mūsā al-Kāzem<sup>223</sup>**

村はずれの少し小高くなった場所。廟の周囲には墓地が広がり、墓地の外にガッサールハネや、現在は使われていないハンマーム。(写真 370)

以前の廟を取り壊し、新しい廟を建設中。(写真 371)

<sup>218</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emānzāde Zakariyā b. Sharaf b. Ḥosein b. Zeid b. 'Alī b. Ḥosein b. 'Alī b. 'Īsā b. Moḥammad b. 'Alī b. Emām Ja'far である。

<sup>219</sup> [Noubān : 98-99]

<sup>220</sup> [Pazhūheshgāh : 162]

<sup>221</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emānzāde Ja'far b. Aḥmad b. Mūsā b. Moḥammad b. Aḥmad b. Mūsā al-Mobarreḡe' b. Emām Moḥammad al-Taḡī であり、ゴム市内のチェヘル・アフタラーンに葬られているムーサーの孫にあたる。

<sup>222</sup> [Seyyed Javādī 2 : 419, Noubān : 99]

<sup>223</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emānzāde Solṭān Sho'eib b. Dāvūd b. 'Abdollāh b. Aḥmad b. Esmā'il b. Aḥmad b. Esmā'il b. Moḥammad b. Moḥammad b. Emām Ja'far である。

ハラムにはアルミ製のザリーが置かれている。(写真 372,373)

**(96) امامزادگان اسماعیل و عبدالله (Emāmzādegān Esmā'īl va 'Abdollah)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Dastjerd – Rūstāye Fūjerd

(北緯 34 度 35 分 05 秒 東経 50 度 08 分 25 秒 標高 2231 メートル)

Emāmzādegān Esmā'īl va Abū 'Abdollah Ḥosein farzandāne Emāmzāde Seyyed 'Alī b. Aḥmad b. Moḥammad b. 'Alī b. 'Abdollah b. Ja'far b. Ja'far b. Moḥammad b. Emām 'Alī<sup>224</sup>

村の手前で山から流れる川沿いに右折。2 キロメートルほど遡った突き当たり。

低いドームを持つ塔状の廟。近年改修が行われ、廟の前の泉や、ズィヤーラトの人々のための設備が整備された。(写真 374,375)

ハラムにはアルミ製のザリーが置かれ、天井に渡された紐に多数のダヒールが結ばれている。(写真 376,377)

夏になるとズィヤーラトの人々が多数訪れ、周辺は人々の敷物や、泊まりがけの人々のテントでいっぱいになる。

**(97) امامزادگان ام سلمه و ام كلمه (Emāmzādegān Omm Salame va Omm Kalame)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Dastjerd – Rūstāye Nāye

(北緯 34 度 36 分 49 秒 東経 50 度 15 分 29 秒 標高 1825 メートル)

Emāmzādegān Omm Salame va Omm Kalame az navādegane Emām Mūsā al-Kāzem<sup>225</sup>

村の中を流れる細い川の脇。周囲は墓地。(写真 378)

青いタイルを貼った楕円のドームを持つ廟。近年、改修が行われている。(写真 379)

廟の前にチェナールの巨木が立ち、廟を覆い隠すようにしている。(写真 380)

ハラムには金属製のザリーが置かれている。

**(98) امامزاده اسحاق (Emāmzāde Eshāq)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Dastjerd – Rūstāye Nāye

(北緯 34 度 36 分 49 秒 東経 50 度 15 分 33 秒 標高 1793 メートル)

Emāmzāde Eshāq b. Ja'far b. Moḥammad b. Ja'far b. Moḥammad b. 'Omar b. Emām 'Alī<sup>226</sup>

谷底に広がる村に下りる入り口近く。廟の前からオンム・サラメ・ヴァ・オンム・キャラメが見える。(写真 381,382)

廟は以前のもを取り壊し、新しく立て直されたもの。隣にはマスジェド。

<sup>224</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによる。これによると、ゴム市内の廟のある、Seyyed 'Alī の息子たちとなる。

<sup>225</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emāmzāde Omm Salame b. Emāmzāde 'Alī Akbar b. Ḥasan b. Moḥammad b. 'Abdollah b. Moḥammad b. 'Abdollah b. Ḥasan b. Emām Ḥasan Mojtabā であり、Abarjes 村のエマームザーデ・アリー・アクバルの娘である。また、Omm Kalame は、Omm Salame のおばの可能性が高いとされる。

<sup>226</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによる。9 世紀末から 10 世紀初頭に亡くなったとされる。

広くて明るい廟内に、ザリーを持たない背の低い大理石の墓石が置かれている。

**(99) امامزاده حلیمه خاتون (Emāmzāde Ḥalīme Khātūn)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Dastjerd – Rūstāye Nāye

(北緯 34 度 37 分 03 秒 東経 50 度 15 分 13 秒 標高 1836 メートル)

Emāmzāde Ḥalīme Khātūn b. Emām Mūsā al-Kāzem

村の外に広がるバークのさらに外。エマームザーデ・エスハークとは村を挟んで反対側に当たる。廟の周囲は墓地が広がる。

以前の廟を取り壊し、新しい廟を建築中。(写真 383,384)

広いハラムには、ザリーを持たない背の低い墓石が置かれている。

木曜日の午後になると、墓参りを兼ねた人々が多数集まってくるとのこと。

**(100) امامزاده علمدار (Emāmzāde ‘Alamdār)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Dastjerd – Rūstāye Kiyāb

(北緯 34 度 39 分 02 秒 東経 50 度 16 分 07 秒 標高 1695 メートル)

Amīr Šāleḥ b. Ebrāhīm b. Malik Ashtar Nakhī<sup>227</sup>

戸数数戸という小さな村から 1 キロメートルほど離れたバークの中に建つ廟。廟の前には泉が湧き、小さなホウズを作っている。(写真 385,386)

ドームを持つ石造りの廟。改修が行われている最中であるが、オリジナルは 11~12 世紀のものと考えられる<sup>228</sup>。(写真 387,388)

夏のシーズン以外はハラムへの扉には鍵がかけられている。改修中のため、床がはがされているが、緑の布をかけた、ザリーを持たない大きな墓石が置かれている。(写真 389)

ザイド派軍の‘Alamdār (旗手)であったが、ザイド派の敗北によってこの地へ逃げ、その後農業に従事して亡くなり、ここに葬られたと言われている。

**10. ハルジェスターン区ガーハーン地区 (Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Qāhān)**

**(101) امامزادگان حسین و ابی طالب (Emāmzādegān Ḥosein va Abī Ṭāleb)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Qāhān – Rūstāye Kohandān

(北緯 34 度 39 分 94 秒 東経 50 度 09 分 97 秒 標高 2104 メートル)

Emāmzāde Abū ‘Abdollāh Ḥosein b. Abī Ṭāleb ‘Abdollāh b. Aḥmad b. ‘Alī b. Moḥammad b. ‘Omar b. ‘Alī b. ‘Omar b. Emām Zein al-‘Ābedīn<sup>229</sup>

<sup>227</sup> フーゼスターン州 Rāmhormoz 市に同じ人物のものと考えられる廟が存在する。こちらはセルジューク朝時代からティームール朝時代のもものとされる。(2006 年 10 月 11 日付 Abrār 紙)

<sup>228</sup> [Noubān : 104]

村はずれのバークの中。塀に囲まれており、エマームザーデの表示もないため見落としてしまふようになる。墓地は持たない。

以前の廟を取り壊し、新しく建てられた小さなドームを持つ廟。入り口を入ってすぐの小部屋と、その奥にハラム。(写真 390,391)

ハラムには木製のサンドゥーグが置かれている。

**(102) امامزاده بی بی شریفه خاتون (Emāmzāde Bībī Sharīfe Khātūn)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Qāhān – Rūstāye Nevīs

(北緯 34 度 43 分 60 秒 東経 50 度 12 分 00 秒 標高 1744 メートル)

Emāmzāde Bībī Sharīfe Khātūn b. Emām Mūsā al-Kāzem<sup>230</sup>

村の中に建つ廟。廟の前に墓地。廟へあがる階段に墓石が使われているが、これは墓石のみを再利用したもの。廟の前を水路が通っているが、これらの工事のため墓地を縮小したとのこと。(写真 392,393)

改修工事のため、ハラム内は確認できず。

**(103) امامزاده هادی معروف به شاهزاده هادی (Emāmzāde Hādī ma‘rūf be Hādī)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Qāhān – Rūstāye Jamīzqān

(北緯 34 度 43 分 44 秒 東経 50 度 16 分 30 秒 標高 1483 メートル)

Emāmzāde Hādī az ahfāde Emām Mūsā al-Kāzem<sup>231</sup>

村はずれに建つ廟。周囲は墓地。廟の前にチェナールの巨木。(写真 394,395)  
廟から一段下がった位置にアーバンバールやガナートの水を引いたハウスが作られている。(写真 396)

廟の改修が行われ、廟の敷地内にはマスケドや管理事務所、ガッサールハーネなどの施設も作られている。廟の建築は 13 世紀頃に遡るとされる<sup>232</sup>。

それほど広くないハラムには、アルミ製のザリーが置かれている。(写真 397)

**(104) امامزاده عاقب (Emāmzāde ‘Āqeb)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Qāhān – Rūstāye Banābar

(北緯 34 度 43 分 38 秒 東経 50 度 16 分 48 秒 標高 1480 メートル)

村はずれに建つ廟。廟の周囲は墓地。(写真 398)

<sup>229</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによる。これによると、二人は親子である。

<sup>230</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emāmzāde Bībī Sharīfe Khātūn b. Ḥamze b. ‘Abdollāh b. Ja‘far b. Ṭāher b. ‘Alī b. Moḥammad b. ‘Alī b. ‘Obeidollāh b. Aḥmad b. ‘Alī b. Emām Ja‘far である。

<sup>231</sup> 廟内のシャジャレ・ナーメによる。一説には Emām Zein al-‘Ābedīn の子孫。[Seyyed Javādī 2 : 477] ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emāmzāde Hādī b. Mahdī b. Ḥosein b. Ebrāhīm b. Mūsā b. Ebrāhīm b. Emām Mūsā al-Kāzem である。

<sup>232</sup> [Noubān : 103]



廟や敷地を囲む塼・門などの改修工事が行われている途中。廟はガージャール朝時代に建てられたものとされる<sup>233</sup>。(写真 399)

ハラムにはアルミ製のザリーが置かれている。(写真 400)

**(105) امامزاده ابو طالب (Emānzāde Abū Ṭāleb)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Qāhān – Rūstāye Kāsvā

(北緯 34 度 43 分 54 秒 東経 50 度 11 分 19 秒 標高 1890 メートル)

Emānzāde Abū Ṭāleb 'Alī b. Moḥammad b. Ḥosein b. 'Isā b. Moḥammad b. Qāsem b. Ḥasan b. Zeid b. Emām Ḥasan Mojtabā<sup>234</sup>

Qāhān から村に入る手前。街道から谷へ下りる途中に見える廟。(写真 401)

煉瓦の角錐ドームを持つ古い廟。建築はサファヴィー朝時代に遡る<sup>235</sup>。壁の一部は崩れ、扉もゆがんでいるが、ハラム内は清掃が行き届き、人が定期的に訪れていることを伺わせる。

廟の周囲と廟内は墓地となっているが、新しい墓は少ない。(写真 402)

ドームの下の塔状の部分に当たるハラムは狭く、ハラムいっばいに木製のサンドゥーグが置かれている。(写真 403-405)

**(106) امامزاده احمد (Emānzāde Aḥmad ma'rūf be Shāhzāde Aḥmad)**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Qāhān – Rūstāye Kāsvā

(北緯 34 度 43 分 55 秒 東経 50 度 10 分 55 秒 標高 1943 メートル)

Shāhzāde Aḥmad b. 'Alī b. Ḥasan b. 'Alī b. 'Omar b. Emām Zein al-'Ābedīn<sup>236</sup>

村を通り抜け、バークが広がる中に建つ廟。廟の敷地内には墓地。(写真 406-408)

緑色のはげかかったドームと塔状の廟。そこにトタン屋根をかけたホセイニーエが付け加えられている。15 世紀頃に建てられ<sup>237</sup>、その後何度か改修の手が加えられている。

狭い円筒状のハラムには、緑の布がかげられた木製のサンドゥーグが置かれている。(写真 409,410)

**(107) امامزاده محمد مهدی (Emānzāde Moḥammad Mahdī)<sup>238</sup>**

Bakhshe Khaljestān – Dehestāne Qāhān – Rūstāye Kāsvā

(北緯 34 度 43 分 52 秒 東経 50 度 10 分 80 秒 標高 1923 メートル)

Emānzāde Mahdī b. Moḥammad b. Ḥosein b. Zeid b. Moḥammad b. Aḥmad b. Ja'far b. 'Abd al-Raḥman b. Moḥammad b. Qāsem b. Ḥosein b. Zeid b. Emām Ḥasan Mojtabā<sup>239</sup>

<sup>233</sup> [Noubān : 103]

<sup>234</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによる。

<sup>235</sup> [Noubān : 103-104]

<sup>236</sup> 廟内のズィヤーラト・ナーメとワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによる。これによると 10 世紀中頃に亡くなった可能性が高いとされる。

<sup>237</sup> [Noubān : 104]

<sup>238</sup> [Noubān : 103] では Shāhzāde Mahdī Ghā'eb である。

村の中心部に位置する廟。村のマスジェド・ホセイニーエと一連なりの建物となっている。

(写真 411)

先端部の崩れた青いタイル張りの角錐ドームを持つが、タイルの剥落も目立つ。(写真 412)

ドームの下にあたる塔状のハラムは木製のザリーでほぼいっぱいになっている。ハラムの前と向かって左手が礼拝などに使われるサロンとなっており、向かって右手に数基の墓が置かれた部屋が作られている。(写真 413,414)

冬季など、村の人口が少ない時期は、木曜日の午後のみ扉を開けているとのこと。

## 1 1. ジャアファル・アーバード区ジャアファル・アーバード地区 (Bakhshe Ja'far ābād – Dehestāne Ja'far ābād)

ゴム市の北西部、マルキャズィー州の町、サーヴェヘ向かう街道沿いの地域。以前は Gāzerān と呼ばれたが、革命後、Ja'far ābād と名称が変更された。全体に、平坦で非常に乾燥した地域であるため、以前はガナートによる灌漑農業が行われ、綿花、菜種、穀類などの栽培が行われていた。現在は、工業団地が造成され、工業生産への産業構造転換をはかっている。

### (108) شاهزاده طاهر (Shāhzāde Ṭāher)

Bakhshe Ja'far ābād - Dehestāne Ja'far ābād – Rūstāye Ṭoghrūd

(北緯 34 度 44 分 59 秒 東経 50 度 30 分 74 秒 標高 1044 メートル)

Shāhzāde Ṭāher az navādegane Emām Ja'far<sup>240</sup>

ゴムから北西に 5 ファルサング、村の入り口脇に広がる墓地の中に建つ廟<sup>241</sup>。墓地の中には東屋風の建物を持つ墓があったり、ガージャール朝時代の要人が埋葬されていたりと、このエマームザーデに信仰を持つ人が多かったことが伺える。

以前の廟は取り壊され、新しく建てられた金色のドームを持つ廟。オリジナルの廟はサファヴィー朝時代に遡るものであった<sup>242</sup>。(写真 415,416)

木曜日の午後のみ扉を開けるとのことで、廟内を確認することはできなかった。

### (109) امامزاده عمران (Emāmzāde 'Emrān)

Bakhshe Ja'far ābād - Dehestāne Ja'far ābād – Rūstāye Golestān

<sup>239</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによる。これによると、二人は親子であり、ゴム市内に廟のあるエマームザーデ・ナーセロッディーンの父・祖父にあたる。

<sup>240</sup> 一説に、Emāmzāde Abū Ṭāher b. Ḥosein Qaṭ'ī b. Mūsā Abī al-Sobhat b. Ebrāhīm al- Morteżā b. Emām Mūsā al-Kāzem である。[Seyyed Javādī 3 : 358] ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emāmzāde Ṭāher b. Ḥosein b. 'Alī b. Moḥammad b. Emām Ja'far である。

<sup>241</sup> [Pazhūheshgāh : 163]

<sup>242</sup> [Tabātabāī 2 : 201-2]

(北緯 34 度 39 分 17 秒 東経 50 度 28 分 75 秒 標高 1384 メートル)

Emāmzāde ‘Emrān va Zahrā Khātūn farzandāne Emām Zein al-‘Ābedīn va Zahrā Khātūn<sup>243</sup>

トグルードからピヤーバーンの中を枯れ川沿いに走る未舗装道路を 10 キロメートルほどの村の入り口に建つ廟。敷地内に墓地。廟と道路を挟んだ向かいにタッペ。(写真 417)

以前の廟を取り壊して新しく建てられた、小さなドームを持つ廟。(写真 418)

ハラムには大きなアルミ製のザリーが置かれている。(写真 419)

被埋葬者である二人は兄弟と言われている。

#### (110) امامزاده یحیی (Emāmzāde Yaḥyā)

Bakhshe Ja’far ābād - Dehestāne Ja’far ābād – Rūstāye Ḥosein ābāde vazīr

(北緯 34 度 49 分 20 秒 東経 50 度 32 分 86 秒 標高 948 メートル)

Emāmzāde Yaḥyā b. Emām Mūsā al-Kāzem<sup>244</sup>

村はずれの畑の中。丸ドームを持つ廟。廟の周囲には墓地。(写真 420,421)

改修が行われている最中で、廟の裏には煉瓦が積み上げられている。また、改修に伴い、マスジェドが廟の一角に設けられている。(写真 422)

ハラムには背の低い金属製のザリーが置かれて、ジャー・ナマーズ（礼拝用の敷物）が何枚も広げられている。畑仕事を終えた人が帰宅する際に立ち寄り、このジャー/ナマーズを利用して礼拝をすていたり、バイクでここまで来て礼拝を行う若者がいたりという様子を見ることができる。(写真 423)

#### (111) امامزادگان سلیمان و علی اصغر (Emāmzādegān Soleimān va ‘Alī Aṣghar)

Bakhshe Ja’far ābād - Dehestāne Ja’far ābād – Rūstāye Nūr ābād

(北緯 34 度 48 分 48 秒 東経 50 度 32 分 41 秒 標高 957 メートル)

Emāmzāde Soleimān va ‘Alī Aṣghar nave va natīje az Emām Mūsā al-Kāzem<sup>245</sup>

村からは離れた畑の中に建つ。大小二つの小さな土のドームが並んだ廟。(写真 424,425)

2005 年から 2009 年にかけて改修工事が行われていた。二つのドームの下にそれぞれハラムがあり、緑の布をかけたザリーを持たない墓石が置かれている。それぞれのハラムに人の背丈ほどの低い出入口が作られ、行き来できるようになっている。(写真 426~429)

<sup>243</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emāmzāde ‘Omar b. Ḥosein b. Moḥammad b. ‘Omar b. Moḥammad b. ‘Omar b. ‘Alī b. ‘Alī b. Emām Zein al-‘Ābedīn である。

<sup>244</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emāmzāde Yaḥyā b. ‘Alī b. Ḥasan b. Ebrāhīm b. Ḥasan b. Ḥosein b. Ḥasan al-Aftas b. ‘Alī Aṣghar b. Emām Zein al-‘Ābedīn である。

<sup>245</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメのうち、このエマームザーデを指していると思われるものは、Emāmzādegān Soleimān va Mūsā となっている。所在地が“Rūstāye Ja’far ābād”であり、実際の所在地である“Rūstāye Nūr ābād”とは異なるのだが、Rūstāye Nūr ābād のすぐ南に Rūstāye Ja’far ābād が存在し、村の外の畑の中にある Emāmzāde Soleimān va ‘Alī Aṣghar ともそれほど距離がないことから、同一のエマームザーデを指していると考えて良いであろう。このシャジャレ・ナーメによると、Emāmzādegān Soleimān va Mūsā farzandāne Ḥosein b. Aḥmad b. Eṣṣāq b. Ebrāhīm b. Mūsā b. Ebrāhīm b. Emām Mūsā al-Kāzem である。

廟の入り口に向かって左手の小さなドームが 10 歳で亡くなったアリー・アスガルの埋葬されている廟で、右手の大きめのドームが 20 歳で亡くなったソレイマーンの埋葬されている廟と言われる。(写真 430)

## 1 2. カーシャーン街道 (Jādde Kāshān)

ゴムからカーシャーンに向かって走る街道沿い、キャハクへの街道との分岐点あたりを指す。ビヤバーンが広がり、村は少ない。街道沿いには、石材の加工工場や煉瓦工場などが多い。

### (112) امامزاده جمال الدين معروف به بابا جمال (Emānzāde Jamāl al-Dīn ma'rūf be Bābā Jamāl)<sup>246</sup>

Jādde Kāshān – Rūstāye Langerūd

(北緯 34 度 31 分 40 秒 東経 50 度 58 分 48 秒 標高 957 メートル)

Emānzāde Jamāl al-Dīn az natījeje Emām Ja'far<sup>247</sup>

ランゲルード村のはずれ、キャハク街道沿いに建つ廟。廟の周囲には墓地。

以前の廟を取り壊し、新しい廟を建築中。(写真 431)

ハラムには緑色に塗られた金属製のザリーが置かれている。ザリーの扉に渡された鎖にダヒールや南京錠が多数下がっている。(写真 432,433)

### (113) امامزادگان رقيه خاتون و حليمه خابون (Emānzādegān Roqaiye Khātūn va Ḥalīme Khātūn)<sup>248</sup>

Jādde Kāshān – Rūstāye Langerūd

(北緯 34 度 31 分 54 秒 東経 50 度 58 分 85 秒 標高 960 メートル)

Emānzādegān Roqaiye Khātūn va Ḥalīme Khātūn az ahfād Emām Mūsā al-Kāẓem<sup>249</sup>

<sup>246</sup> [Ṭabātabāī 2 : 175-176]

<sup>247</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emānzāde Jamāl al-Dīn b. Ja'far b. Ḥosein b. 'Alī b. Moḥammad b. Emām Ja'far である。

<sup>248</sup> 筆者は調査開始時と終了時の二度、ワクフ慈善庁ゴム支部からゴム州で同庁が管理する聖所のリストの提供を受けている。この二つのリストによると、ランゲルード村にエマームザーデは二つ存在する。一つは「バーバー・ジャマール」であり所在の確認もできるが、もう一方は、最初に提供されたリスト上では「エスハーク」となっており、二度目に提供されたリストでは「エブラーヒーム」となっている。この名を持つエマームザーデはランゲルード村には存在しない。村の人たちに確認を取ったところ、村の中にある廟は古くから Roqaiye Khātūn va Ḥalīme Khātūn と呼ばれてきた。しかし、最近になってワクフ慈善庁が、男性も葬られていることが明らかになったと言っているようなので、名前が変わっているのではないだろうかとのことであった。その他の資料では、Roqaiye Khātūn va Ḥalīme Khātūn あるいは Ḥalīme Khātūn va Roqaiye Khātūn である。[Ṭabātabāī 2 : 175, Seyyed Javādī 2 : 423, Naṣer al-Sharī'e : 225, Pazhūheshgāh : 115, Ejtehādī 2 : 122]

<sup>249</sup> ワクフ慈善庁配布のシャジャレ・ナーメによると、Emānzādegān Roqaiye Khātūn va Omm Kolṣūm b. Moḥammad b. 'Abdollāh b. Moḥammad b. 'Abdollāh b. Ḥasan b. Emām Ḥasan Mojtābā であり、Omm

ゴムから3ファルサング、ゴム-カーシャーン街道とキャハク街道の分岐点にある村のはずれ。墓地の中に建つ廟。村のマスジェドが隣接して建てられている。

低いドームを持つ廟に、台所や物置、家族墓の小部屋がいくつか建て増されている<sup>250</sup>。(写真 433)

現在の入り口から一段下がったハラムには、緑色の布をかけたザリーを持たない墓石が置かれている。(写真 435,436)

木曜日の午後になると、村の女性たちがズィヤーラトに集まってくる。

---

Kolṣūm が Ḥalīme Khātūn であると注釈がなされている。

<sup>250</sup> 2009 年から、建て増された小部屋等を取り壊し、大規模な廟の改修が行われている。

### 3. ゴム州の〈聖所〉をめぐって

#### (1) 〈聖所〉に埋葬されている人々

##### a. エマームザーデ

聖所には、バラキヤトを持ち、シャファーを与えてくれ、敬意を払われるべき人物が埋葬されていると見なされていることが多い。12 イマーム・シーア派住民が多数を占めるイランにおいては、エマームザーデと呼ばれる 12 人のイマーム（現代ペルシア語の発音ではエマーム）の血を引く人物であることがほとんどである。それは、廟内のズィヤーラト・ナーメやシャジャレ・ナーメ、墓石に刻まれた碑文、文献資料などで明らかにされる。しかし、何の資料もなく、現地の人々もエマームザーデであると認識はしていても、どのエマームの血統かという情報を持っていない場合もある。また、いくつかの説があって確認できない場合も多い。

とりあえず、現段階で確認できたエマームザーデの血統については以下の通りである。

一つの廟に葬られている兄弟姉妹については一人としてカウントしている。

初代	Emām 'Alī	4
第二代目	Emām Ḥasan Mojtabā	6
第四代目	Emām Zein al-'Ābedīn	25
第五代目	Emām Moḥammad al-Bāqer	1
第六代目	Emām Ja'far al-Šādeq	11
第七代目	Emām Mūsā al-Kāzem	31
第九代目	Emām Moḥammad al-Taqī (Emām Javād)	3

第七代目イマーム・ムサーの子供あるいは子孫とされるエマームザーデが多いことは、テヘラン州と同じであるが、それに次ぐエマーム・ゼイノルアーベディーンの子供あるいは子孫との差は、テヘラン州ほど大きくない。

ゴム州で目につくのは、初代エマーム・アリーの子孫である。テヘラン州では二カ所であったが、ゴム州では四ヶ所であり、エマームザーデの名称で呼ばれている。

##### b. エマームあるいはエマームザーデと血縁・婚姻関係を持つ人々

ゴム州ではこれに分類される聖所は少ない。テヘラン州で見られたエマームザーデの廟内にあるエマームザーデの母や妻といった墓は見あたらず、エマームザーデの姉妹や子供たちはエマームザーデとして埋葬されている。

初代エマーム・アリーの息子の一人、Abū al-Faḍlの子孫がゴム市内に廟のある Shāhẓāde

Seyyed 'Alī である。

**c. エマームあるいはエマームザーデと関係を持つ人々**

エマームあるいはエマームザーデに使えていた人々の墓と伝えられる聖所も見られる。ゴム市内の Maqbareye Bābā Mosāfer は第8代目エマーム・レザーと第9代目エマーム・ジャヴァードに使えていた人物とされる。また、Qabrestāne Sheikhān に廟のある Zakariyā b. Ādam Ash'arī Qommi 教友である。ハルジェスタン地区 Kiyāb 村の Emāmzāde 'Alamdār はザイド軍の旗手であった。

**d. Sheikh あるいは Pir**

シェイフは三カ所4名、ピールは三カ所、Khāje が一カ所。

(2) <聖所>の種類

**a. Qadamgāh**

ゴム郊外にある Kūhe Kheẓr の一カ所のみ。

**b. Derakhte Moqaddas**

チェナールなどの巨木が傍らにあるなど、古木と関連のある聖所は何カ所も見られるが、樹木が明確に人々の崇敬の対象となっていたと言えるのは、ジャムキャラーンの Panj Emāmzāde の敷地内にあった樹齢 500 年とも言われる糸杉の木のみ。しかしこれは 2008 年 11 月 30 日にワクフ慈善庁ゴム支部の指示によって切り倒されてしまい、現在は存在しない。

**c. Cheshme, Qanāt**

廟に隣接して、あるいはその敷地内に泉やガナートの出口が見られる聖所は多いが、間違いなく泉やガナートを崇敬対象としていると言えるものは見られなかった。次の岩窟信仰と組み合わせられたものには、泉の存在と関係を持つものが多い。

**d. 岩窟**

ゴム-テヘラン旧街道から 12 キロメートル地点の山腹にある Emāmzādegān Ahl 'Alī va Sahl 'Alī、ゴムルードの Emāmzāde Soleimān の二カ所。これは岩窟の中に湧く泉への信仰とも関連していると考えられる。

**e. マスジェド**

本来は礼拝を行う場所という機能が最も重要であるマスジェドが、<聖所>としての機能

を持つことがある。Jamkarān のマスジェド(Masjede Šāḥeb al-Zamān)がそれである。人々はここを訪れることを目的としてイラン各地から集まってくる<sup>251</sup>。

#### f. その他

ハズラテ・ファーテメが亡くなった後、遺体を浄め(Gosl)た場所とされるゴム市内の Ziyāratgāh Settīye Khātūn。マスジェドの一部となり、人々が礼拝の時刻になると祈りに訪れる。

メッカのカアバ神殿の石が人々の崇敬の対象となっていた Khākfaraj の Ka'be。これは現在、存在しない。

### (3) <聖所>にまつわる伝承

聖所にまつわる伝承として最も多いものは、その起源に関するものである。

「村人某の夢に従って発見された」と伝えられる聖所は多い。ジャムキャラーンのマスジェドはその中でも最も著名なものである。

ゴム州内で確認できた、夢に現れたエマームザーデによって発見された聖所は8カ所。Fardo の Shāhzhāde Esmā'īl、Kahak の Chahār Emānzāde、Miyām の Emānzāde Eshaq、Bīdhend の Emānzāde Fāzel、Khor ābād の Emānzāde Soleimān、Qal'e Cham の Emānzāde 'Abdollah、Abarjes の Emānzāde Dorr b. 'Alī である。

病氣治しなどの奇跡についても各地で多数伝えられている。

#### a. Masjede Jamkarān に関する伝承

393年(一説には373年)ラマダーン月17日火曜の夜(1003年7月20日あるいは984年2月22日)、Sheikh Ḥasan b. Maṣale Jamkarānī という人物が家で眠っていると、一群の人々がやってきて、起きてマフディーの望みを叶えるようにと言った。彼らはシェイフを、現在マスジェドが建っている場所へと連れて行った。シェイフが目をこらすと、美しい絨毯を広げた台の上に30歳ほどの若者が座り、一人の老人がその足下に座っていた。老人は Kheẓr であった。

マフディーはシェイフを呼び、この地を耕す Ḥasan Mosallam に、この地は神が選んだ高貴な地である故、今後ここを耕すことはまかりならぬと伝えるよう言った。そして、ここで最初の2ラクアはマスジェドへの祝福を niyat として、次の2ラクアは Emām Mahdī への祝福を niyat として、計4ラクアの礼拝を行うように。この2ラクアの礼拝をこの地で行う者はカアバで2ラクアの礼拝を行うのと同じであると言った。

<sup>251</sup> 他に、イーラーーム州イーラーーム市にある同名 Masjede Šāḥeb al-Zamān もマスジェドでありながら人々の崇敬の対象となり、火曜日の午後になると人々が集まり、祈りを捧げる場となっている。女性たちは木製のミンバルにすがり、泣き、祈り、あるいはダヒールを結んでいた。多くの人々が集まってくるため、マスジェドの前に露天市が立つほどであった。



## b. Shāhzāde Esmā'īl に関する伝承

1. Mohaqqueqe Qommī は、Esmā'īl の血統が明らかでないことを理由にズィヤーラトを行わなかったのみか、人々がズィヤーラトを行うことも禁じた。ある夜、美しい白いひげを持つ一段の中にエマームザーデを見た。エマームザーデは「我々のズィヤーラトに来ないおまえがなぜ、人々が我々をズィヤーラトすることを禁ずるのか？」と言った。

その後、年に一度、その人物はエマームザーデへのズィヤーラトを行い、ゴムの人々もズィヤーラトを行うようになった<sup>252</sup>。

2. Bīdgān からエマームザーデまでの道は狭く厳しかったが、あるとき、エマームザーデの力により、岩が割られ、石畳のようにきれいな道が現れた。

3. エマームザーデにズィヤーラトのためある夫婦が家を出た。妻はエマームザーデに捧げるため、一本のパン焼き釜で使う金棒を持っていた。それを見た夫は価値がないと怒り、宙に放り投げた。しかしそれは落ちてこず、夫婦がエマームザーデに着いてみると、それは台所の天井にぶら下がっていた。それは今でも見ることができる。

4. エマームザーデは山中にあるため水源から遠かった。1260/1844 年に Hāj Seyyed Ja'far Nūsh ābādī という人物が、井戸を求めためサフンの中央を掘り始めた。職人をゴムやカーシャーンから連れてきて掘ったものの、岩が硬く、水源にはなかなか到達できなかった。何年たっても水は出ず、支出が増すばかりであった。20 zar' (2080 センチメートル) 掘っても水は出なかった。人々はあきらめるよう言い、セイエドも絶望した。ある夜、悲しみに泣きながら眠ると、夢にエマームザーデが現れ、仕事を続けるよう言った。セイエドは目が覚めると仕事を続けた。さらに 2 zar' (208 センチメートル) 掘ると水が出た。ここまで 12 年がかかっていた。この井戸は現在も使われ、エマームザーデで用いる水はすべてこの井戸の水である<sup>253</sup>。

## おわりに

2006 年から 2007 年にかけてと 2009 年の二回、4 年間かけてのゴム州での聖所調査であったが、面積の点で小さかったことと、道路事情が比較的良好であったことから、個人的な事情により少々時間がかかったものの、前回のテヘラン州に比べると調査そのものは苦労が少なく済んだように思う。そうした道路事情の良さにも反映されているが、シーア派の中心の一つとして重要な地位にあるゴムは、イラン国内の他の州に比べて交通網が整備され、

<sup>252</sup> [Nāṣer al-Sharī'e : 222]

<sup>253</sup> [Nāṣer al-Sharī'e : 222-3]

また、聖所、特にエマームザーデの整備に対して大きな予算が割り当てられているように見えた。

州内の各地で古い廟を取り壊し、タイル張りのドームと高価なザリーを持つエマームザーデの廟が次々と建てられている一方で、ピールやハージェの廟は荒廃し、忘れられていくという状況も目についた。

近年、ワクフ慈善庁を中心として、エマームザーデの系譜を研究し、系譜図を作成する努力がなされている。そしてその成果の一つとして、各エマームザーデにシャジャレ・ナーメを配布することが行われている。エマームザーデを訪れると、そのシャジャレ・ナーメが壁に貼られているのが見られる。

ゴムのルーハーニーによる詳細な研究結果を、ワクフ慈善庁という国の機関がそれを印刷・配布しているという事実により、あたかも国がエマームザーデの正当性、権威を保証しているかのように感じられるようになった。その結果、「きちんとした」シャジャレ・ナーメがない廟は注目に値しない、という風潮を強めている。ゴム州の聖所を巡っていて、どれだけのバラキヤトを持っているかではなく、どれだけ信用に値するシャジャレを持っているかがエマームザーデに対する価値基準となりつつあるのではないかと思うことも多かった。

イランにおける聖所、特にエマームザーデの方向性の一端がゴム州で見られる。これがゴム州特有のものなのか、それとも全国に広がっていくものなのか、イランでの調査を継続する中で確認していきたい。

## 参考文献

- Abiyāne, 'Alī Akbar Nārī (1384S.H./2005-6) Vajhe Tasmīme Nām va Shohrate Emāmzādegān : bā Negāhī be Manābe'e Tārīkhī va Joghrāfiyāī, *Mīrāthe Jāvīdān*, No.52 , pp.133-158.
- Ahmādī, Ḥosein (1387S.H./2008) *Nūr 'Alī nūr : Ziyārat nāmeye Ḥazrate Emāmzādegāne Mūsā Mobarreqe'*, Ahmad bin Moḥammad e'rāj, Zeid va Chehel Akhtarān, Qom.
- Bāstānī Pārizī, Moḥammad Ebrāhīm (1344S.H./1965) *Khātūne Haft Qal'e*, Tehrān.
- Edāreye Kolle Ouqāf va Omūre Kheirīyeye Ostāne Qom (1385S.H./2006) *Rāhnamāye Emāmzādegāne Qom : Mo'ārefīye Ejmālīye Emāmzādegān va Jāzbehāye Siyāḥatī va Ziyāratīye Ostāne Qom*, Qom.
- Ejtehādī, Moḥṭafā (ed.) (1382S.H./2003-4) *Dāyerat al-Ma'ārefe Zane Irānī*, 2vols., Tehrān.
- Javāher Kalām, 'Abdol-Ḥosein (1382S.H./2004) *Torbate Pākān : Sharḥe Ḥāle Madfūn dar Sarzamīne Qom*, vol.1, Qom.
- Moḥammadī Gīlānī, Moḥammad Mahdī (1378S.H./1998) *Anvāre Parākande*, Vol.1, Gom.
- Nāṣer al-Sharī'e, Moḥammad Ḥosein, Davānī, 'Alī (ed.) (1383 S.H./2004-5) *Tārīkhe Qom, yā Ḥarīme Moṭahhare Bānūye 'Āliqadre Ahliyate 'Eṣmat va Ṭahārate Ḥazrate Fāṭeme Ma'ṣūme*, Tehrān.
- Noubān, Mehr al-Zamān (1381S.H./2002-3) *Sīmāye Mīrāthe Farhangīye Qom*, Tehran.
- Pazhūheshgāhe Farhang va Honare Eslāmī (1378S.H./1998) *Dāyerat al-Ma'ārefe Banāhāye Tārīkhīye Doureye Eslāmī ( Banāhāye Ārāmgāhī)*, Tehrān.
- Qāzīhā, Fāṭeme (1381S.H./2002-3) *Safarhāye Nāser al-Dīn Shāh be Qom*, Tehrān.
- Qommī, Ḥasan b. Moḥammad, Qommī, Tāj al-Dīn Ḥasan Khaṭīb b. Bahā' al-Dīn 'Alī b. Ḥasan b. 'Abd al-Malek (tr.), Qommī, Moḥammad Reżā Anṣārī (ed.) (1385S.H./2006-7) *Tārīkhe Qom*, Qom.
- Ṣadr Ḥāj Seyyed Javādī, Aḥmad and Two Others (ed.) (1375S.H./1996-7) *Dāyerat al-Ma'ārefe Tashayyo'*, Qom.
- Ṭabātabāī, Modarresī (1335S.H./1956-7) *Torbate Pākān : Āthār va Banāhāye Qadīme Maḥdūdeye Konūniye Dār al-Mo'menīne Qom*, 2vols, Qom.
- \_\_\_\_\_ (1364S.H./1985-6) *Qom Nāme*, Qom.
- 赤堀雅幸・東長靖・堀川徹編 (2005) 『イスラームの神秘主義と聖者信仰』(イスラーム地域研究叢書7) 東京大学出版会。
- 上岡弘二 (1987) 「イランの民間信仰の聖所をめぐって～その理解のための仕分けの試み」片倉もとこ編『人々のイスラーム～その学際的研究』
- (1984) 「イラン人の宗教世界～イラン・イスラム革命に関連して」, 上岡弘二、中野暁雄、日野舜也、三木亘編『イスラム世界の人々～1 総論』東洋経済新報社。
- 桜井啓子 (2006) 『シーア派：台頭するイスラーム少数派』 中公新書。
- 清水直美・上岡弘二 (2009) 『テヘラン州の聖所』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所



資 料 編



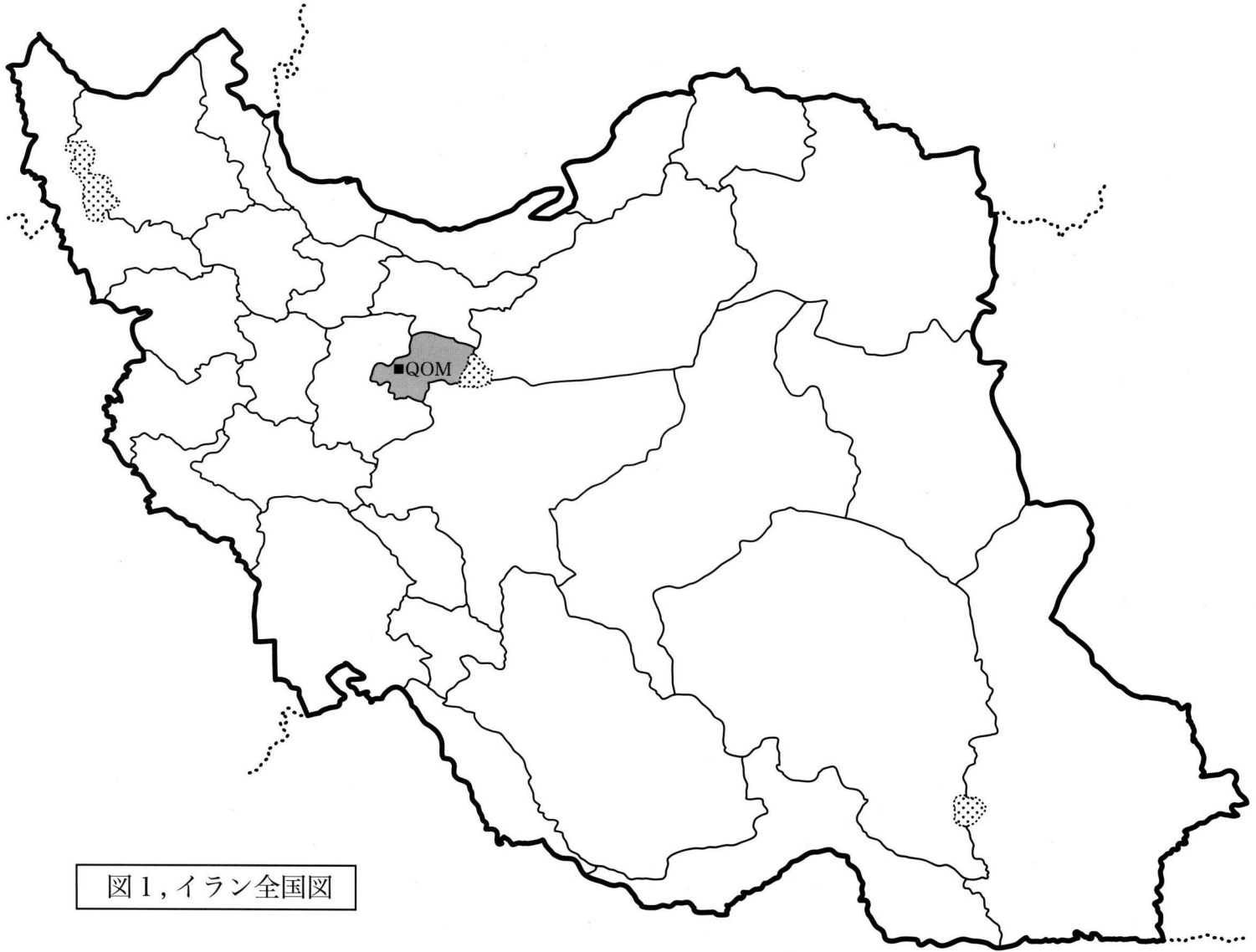
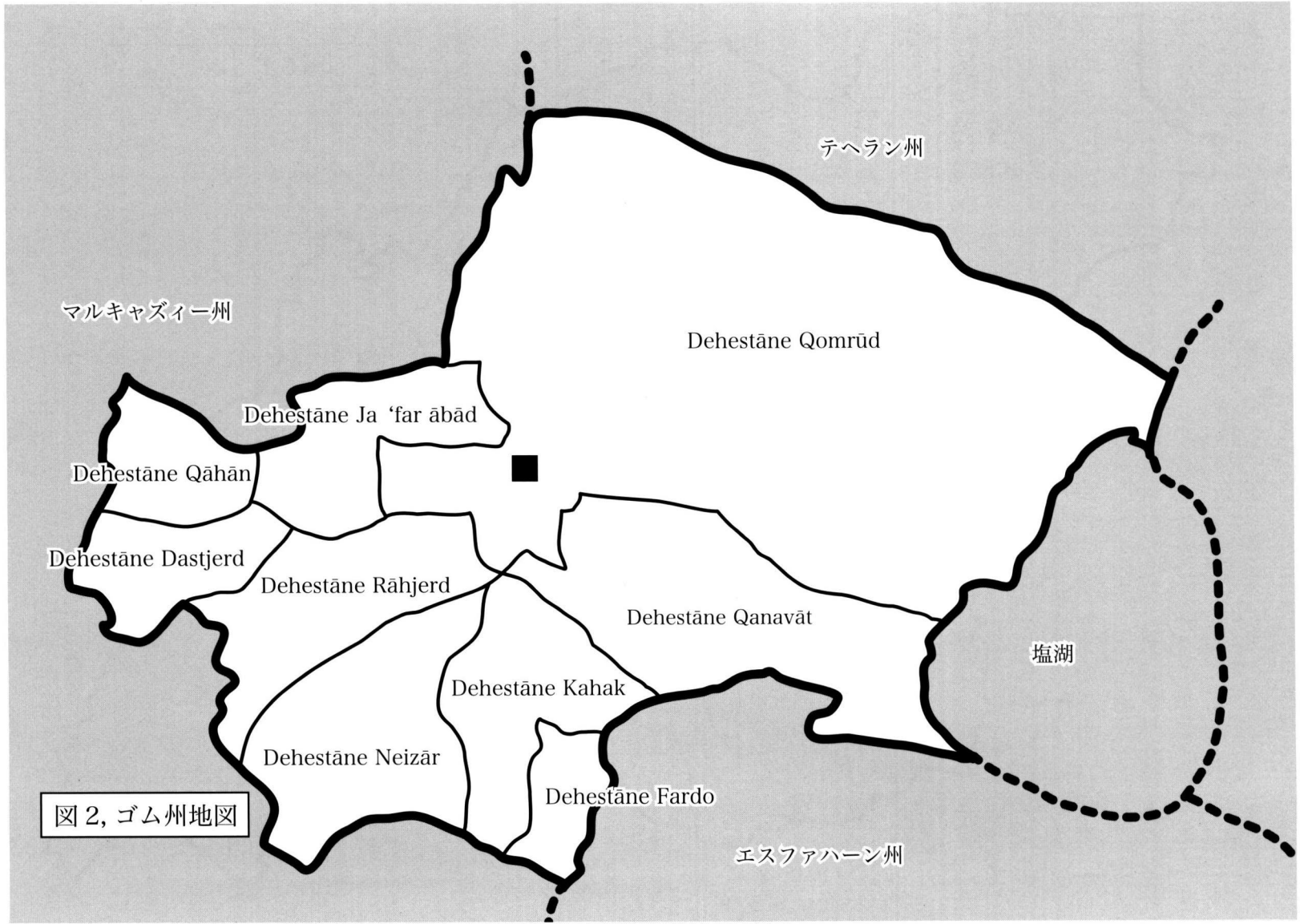


図1, イラン全国図





شهر قم - قسمت شرقی رودخانه			
※ 2	※ 1	地区	
			1 حضرت معصومه قم - آستانه حرم مطهر
	○		2 شاهزاده سلطان محمد شریف قم - خیابان انقلاب - کوچه گذر قلعه
○	○		3 امامزاده علی ابن جعفر (درب بهشت) قم - خیابان انقلاب - فلکه گلزار شهدا - بیرون دروازه کاشان
			4 امامزاده محمد قم - خیابان انقلاب - فلکه گلزار شهدا - بیرون دروازه کاشان
○	○		5 شاهزاده ابراهیم قم - فلکه گلزار شهدا - روبروی گلزار شهدا
○	○		6 شاهزاده حمزه قم - خیابان آذر - روبروی میدان کهنه
	○		7 امامزاده زید قم - خیابان آذر - پشت امامزاده حمزه
○	○		8 شاهزاده موسی قم - خیابان آذر - کوچه چهل اختران - بغل چهل اختران
○	○		9 بقعه چهل اختران قم - خیابان آذر - کوچه چهل اختران
○	○		10 شاهزاده زید قم - خیابان آذر - کوچه چهل اختران - روبروی چهل اختران
	○		11 امامزاده علی موسی الرضا قم - خیابان آذر - میدان نگویی
	○		12 امامزاده شاهزاده سید سربخش قم - خیابان آذر
			13 سید ابو الحسن رضا قم - خیابان آذر - کوچه 45 - انتهای کوچه دست راست - جنب پلاک 6
	○		14 امامزاده سید ناصرالدین قم - خیابان آذر - برابر درب ورودی مسجد امام
○	○		15 شاهزاده احمد بن قاسم قم - خیابان معلم - میدان بسیج - دروازه قلعه
	○		16 بقعه چهار امامزاده قم - فلکه جهاد - خیابان باجک - 20 متری حائری
○	○		17 امامزاده احمد قم - بلوار 15 خرداد
	○		18 شاهزاده سید علی قم - بلوار 15 خرداد - دروازه ری - خیابان 25 متری
○	○		19 بقعه علی بن بابویه قم - خیابان ارم - پشت پاساژ ملت
	○		20 بقعه جعفر ابن قولویه قم - خیابان ارم - جنب قبرستان شیخان

			قم - خیابان ارم - داخل پاساژ ملت	مقبره علی ابن ابراهیم	21
	○		قم - روبروی حرم مطهر	قبرستان شیخان	22
	○		قم - 45 متری عمار یاسر - میدان میر (بیت النور)	زیارتگاه سئیه خاتون	23
			قم - 55 متری عمار یاسر - کوچه 15 - جنب مدرسه شیخ مفید	مقبره بابا مسافر	24
○	○		قم - خیابان آذر - مسجد جامع - دروازه ری	بقعه شیخ اباصلت	25
	○	1 ①	قم - جاده کاشان - جنب قبرستان بقیع	شاه جمال غریب	26
○	○	1 ①	جاده کاشان - جاده جمکران	امامزاده جعفر غریب	27
	○	1 ②	قم - جاده جمکران جدید - شهرک امام خمینی	کوه خضر نبی	28
	○	1 ③	قم - از جمکران به طرف کوه خواجه	امامزاده علی رضا	29
○	○	1 ④	روستای جمکران - پنج امامزاده	امامزاده هادی و مهدی	30
○	○	1 ④	روستای جمکران - پنج امامزاده	شاهزاده جعفر و سکینه خاتون	31
		1 ④	روستای جمکران - در صحن پنج امامزاده	درخت مقدس جمکران	32
		1 ④	روستای جمکران	مسجد جمکران	33
<b>شهر قم - قسمت غربی رودخانه</b>					
	○		قم - میدان الهادی	امامزاده احمد خاکفرج	34
○	○		قم - میدان الهادی	امامزاده سید محمد و سیده صفورا	35
			قم - میدان الهادی - پشت امامزاده احمد خاکفرج	کعبه	36
	○		قم - خیابان شاه ابراهیم	شاه جعفر	37
	○		قم - خیابان شاه ابراهیم	امامزاده ابراهیم	38
	○		قم - میدان نبوت نیروگاه	امامزاده سید معصوم	39
○	○	1 ⑤	قم - ابتدای جاده اراک	امامزاده جمال الدین	40
	○	1 ⑥	قم - انتهای زند آباد - قلعه کامکار - اول جاده گازران	امامزاده سید عبدالله	41

	○	1 ⑦	قم - کمربندی به سلفجان - جاده به جعفریه - کوه یزدان - روبروی قلعه صدری	پیر حسن	42
<b>بخش مرکزی - دهستان قنوات</b>					
○	○	1 ⑧	استان قم - بخش مرکزی - دهستان قنوات - روستای مبارک آباد	امامزادگان طیب و طاهر	42
○	○	1 ⑧	استان قم - بخش مرکزی - دهستان قنوات - روستای مبارک آباد	امامزاده خدیجه خاتون	43
○	○	1 ⑨	استان قم - بخش مرکزی - دهستان قنوات - روستای مبارک آباد - دهکده زالون آباد	امامزاده سکینه خاتون	44
		1 ⑩	استان قم - بخش مرکزی - دهستان قنوات - روستای مبارک آباد	بقعه شیخ نورالدین	45
		1 ⑪	استان قم - بخش مرکزی - دهستان قنوات - روستای مؤمن آباد	امامزاده ابراهیم	46
		1 ⑫	استان قم - بخش مرکزی - دهستان قنوات - از روستای سراج نرسیده به دولت آباد	چهل دختران	47
<b>بخش مرکزی - دهستان قمرود</b>					
○	○	1 ⑬	استان قم - بخش مرکزی - دهستان قمرود - روستای قمرود	شش امامزاده	48
		1 ⑭	استان قم - بخش مرکزی - دهستان قمرود - روستای کوه سفید	مقبره جعفر	49
	○	1 ⑮	استان قم - بخش مرکزی - دهستان قمرود - روستای صفر آباد	امامزاده یحیی	50
	○	1 ⑮	استان قم - بخش مرکزی - دهستان قمرود - روستای صفر آباد	امامزاده سلیمان	51
		1 ⑯	استان قم - بخش مرکزی - دهستان قمرود - 12 کیلومتری از جاده قدیم قم	امامزادگان اهلعلی و سهلعلی	52
<b>بخش مرکزی - دهستان راهجرد</b>					
	○	2 ①	استان قم - بخش مرکزی - دهستان راهجرد - روستای راهجرد	امامزاده عبدالصالح	53
	○	2 ②	استان قم - بخش مرکزی - دهستان راهجرد - روستای زواریان	امامزاده جعفر	54
	○	2 ③	استان قم - بخش مرکزی - دهستان راهجرد - روستای زواریان	امامزاده قاسم	55
	○	2 ④	استان قم - بخش مرکزی - دهستان راهجرد - روستای عباس	شاهزاده عباس	56
	○	2 ⑤	استان قم - بخش مرکزی - دهستان راهجرد - روستای دیزجان	سه خواهران	57
		2 ⑥	استان قم - بخش مرکزی - دهستان راهجرد - روستای دیزجان	پیر محمود	58
		2 ⑥	استان قم - بخش مرکزی - دهستان راهجرد - روستای دیزجان	پیر قیصر	59

		2 ⑦	استان قم - بخش مرکزی - دهستان راهجرد - روستای فرح آباد	خواجه حسن	60
		2 ⑧	استان قم - بخش مرکزی - دهستان راهجرد - حاده قم-اراک - روبروی روستای جنداب	امامزاده بلال	61
<b>بخش کهک - دهستان کهک</b>					
	○	2 ⑨	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - روستای خور آباد	امامزاده سلیمان غریب	62
○	○	2 ⑩	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - روستای صرم آباد	امامزادگان سلطان محمود و زینب خاتون	63
	○	2 ⑪	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - روستای ورجان	شاهزاده عباس یا هفت امامزاده	64
	○	2 ⑫	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - روستای سیرو (سیرویه)	شاهزاده ابراهیم	65
○	○	2 ⑬	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - کهک	امامزاده معصومه	66
		2 ⑬	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - کهک	چهار امامزاده	67
		2 ⑬	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - کهک	شاه قاسم	68
	○	2 ⑭	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - روستای قبادبزن	امامزاده محسن	69
	○	2 ⑮	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - روستای ابرجس	شاهزاده در ابن علی	70
	○	2 ⑮	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - روستای ابرجس	امامزاده علی اکبر	71
	○	2 ⑮	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - روستای ابرجس	امامزاده قاسم	72
	○	2 ⑯	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - روستای ببدهند	امامزاده فاضل	73
	○	2 ⑰	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - روستای کرمجگان	امامزاده نور علی	74
	○	2 ⑱	استان قم - بخش کهک - دهستان کهک - روستای ونارج	امامزاده عیسی	75
<b>بخش کهک - دهستان فردو</b>					
	○	2 ⑲	استان قم - بخش کهک - دهستان فردو - روستای میم	امامزاده اسحاق	76
	○	2 ⑳	استان قم - بخش کهک - دهستان فردو - روستای دستگرد	امامزاده ابراهیم	77
	○	2 ㉑	استان قم - بخش کهک - دهستان فردو - روستای دستگرد	امامزادگان ستیه خاتون و سکینه خاتون	78
○	○	2 ㉒	استان قم - بخش کهک - دهستان فردو - روستای ببدگان	شاهزاده اسماعیل	79

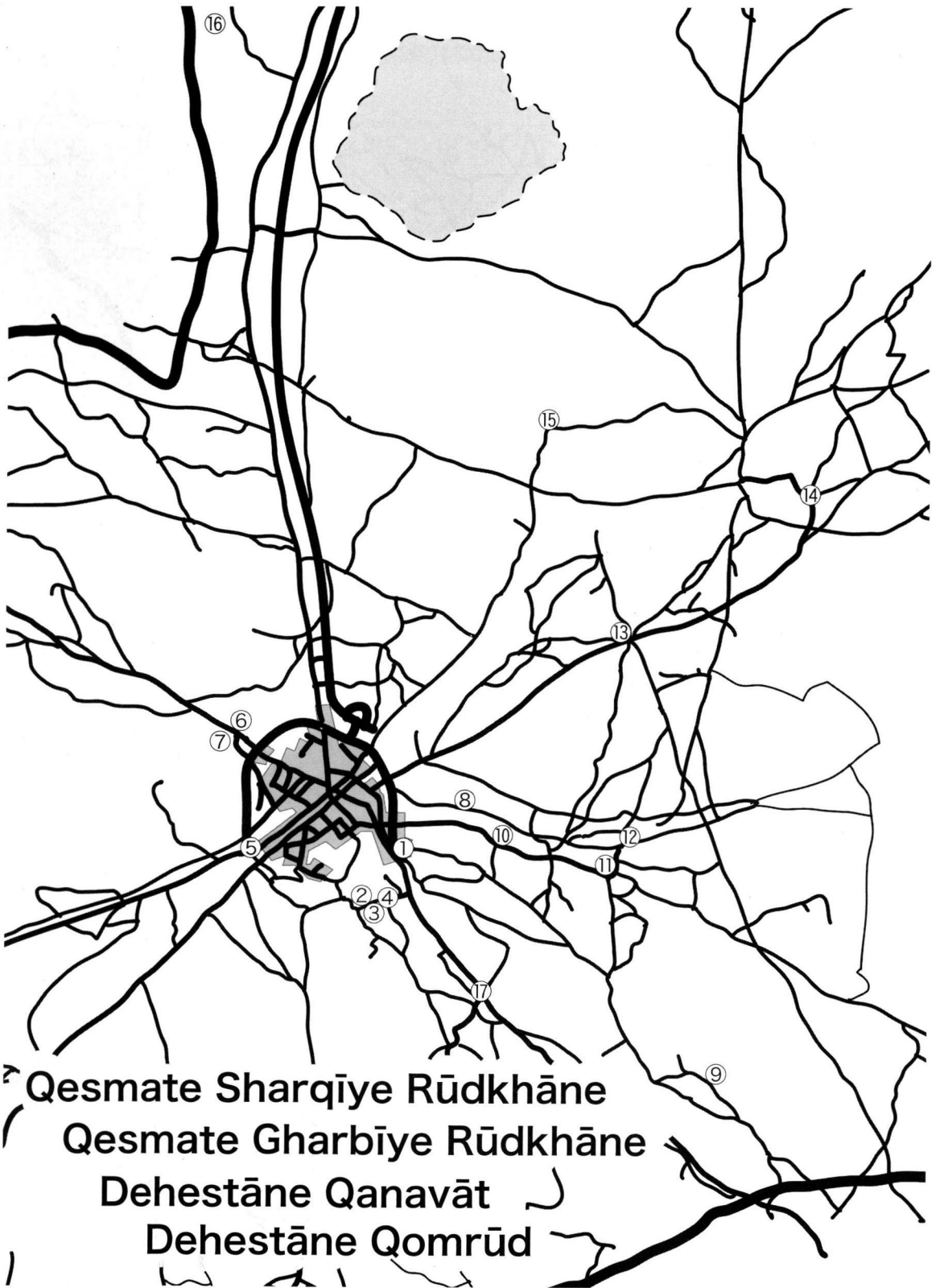
○	○	2 22	استان قم - بخش کهک = دهستان فردو - روستای وشنوه	شاهزاده هادی	80
	○	2 23	استان قم - بخش کهک - دهستان فردو - روستای فردو	شاهزاده رقیه و شاهزاده آمنه خاتون	81
	○	2 23	استان قم - بخش کهک - دهستان فردو - روستای فردو	امامزاده بوره	82
<b>بخش کهک - دهستان نیزار</b>					
	○	2 24	استان قم - بخش کهک - دهستان نیزار - روستای خلج آباد	امامزاده معین	83
○	○	2 25	استان قم - بخش کهک - دهستان نیزار - روستای خدیجه خاتون	امامزاده خدیجه خاتون	84
	○	2 25	استان قم - بخش کهک - دهستان نیزار - روستای خدیجه خاتون	امامزاده ابراهیم	85
	○	2 25	استان قم - بخش کهک - دهستان نیزار - روستای خدیجه خاتون	امامزاده زکریا	86
	○	2 26	استان قم - بخش کهک - دهستان نیزار - جاده قدیم اصفهان - روستای قلعه چم	امامزاده عبدالله	87
	○	2 27	استان قم - بخش کهک - دهستان نیزار - روستای علی آباد	امامزادگان یحیی و حلیمه خاتون	88
	○	2 28	استان قم - بخش کهک - دهستان نیزار - روستای ساریه خاتون	امامزاده ساریه خاتون	89
	○	2 29	استان قم - بخش کهک - دهستان نیزار - روستای حصار سرخ	امامزاده غایب	90
<b>بخش خلجستان - دهستان دستجرد</b>					
	○	3 ①	استان قم - بخش خلجستان - دهستان دستجرد - روستای دستجرد	امامزاده ابراهیم	91
○	○	3 ②	استان قم - بخش خلجستان - دهستان دستجرد - روستای میدانک	امامزاده زکریا	92
	○	3 ②	استان قم - بخش خلجستان - دهستان دستجرد - روستای گیو	امامزاده شاهزاده جعفر	93
	○	3 ③	استان قم - بخش خلجستان - دهستان دستجرد - روستای ورزنه	امامزاده شعیب	94
	○	3 ④	استان قم - بخش خلجستان - دهستان دستجرد - روستای فوجرد	امامزادگان اسماعیل و عبدالله	95
	○	3 ⑤	استان قم - بخش خلجستان - دهستان دستجرد - روستای نایه	امامزادگان ام سلمه و ام کلمه	96
	○	3 ⑤	استان قم - بخش خلجستان - دهستان دستجرد - روستای نایه	امامزاده اسحاق	97
	○	3 ⑤	استان قم - بخش خلجستان - دهستان دستجرد - روستای نایه	امامزاده حلیمه خاتون	98
○		3 ⑥	استان قم - بخش خلجستان - دهستان دستجرد - روستای کیاب	امامزاده علمدار	99

<b>بخش خلجستان – دهستان قاهان</b>				
	○	3 ⑦	استان قم – بخش خلجستان – دهستان قاهان – روستای کهندان	امامزادگان حسین و ابی طالب 100
	○	3 ⑧	استان قم – بخش خلجستان – دهستان قاهان – روستای نویس	امامزاده بی بی شریفه خاتون 101
	○	3 ⑨	استان قم – بخش خلجستان – دهستان قاهان – روستای جمیزقان	امامزاده هادی 102
○	○	3 ⑨	استان قم – بخش خلجستان – دهستان قاهان – روستای بنابر	امامزاده عاقب 103
○	○	3 ⑩	استان قم – بخش خلجستان – دهستان قاهان – روستای کاسوا	امامزاده ابو طالب 104
○	○	3 ⑩	استان قم – بخش خلجستان – دهستان قاهان – روستای کاسوا	امامزاده احمد 105
○	○	3 ⑩	استان قم – بخش خلجستان – دهستان قاهان – روستای کاسوا	امامزاده محمد مهدی 106
<b>بخش جعفر آباد – دهستان جعفر آباد</b>				
	○	3 ⑪	استان قم – بخش جعفر آباد – دهستان جعفر آباد – روستای طغرود	شاهزاده طاهر 107
	○	3 ⑫	استان قم – بخش جعفر آباد – دهستان جعفر آباد – روستای گلستان	امامزاده عمران 108
	○	3 ⑬	استان قم – بخش جعفر آباد – دهستان جعفر آباد – روستای حسین آباد وزیر	امامزاده یحیی 109
		3 ⑬	استان قم – بخش جعفر آباد – دهستان جعفر آباد – روستای نور آباد	امامزادگان سلیمان و علی اصغر 110
<b>جاده کاشان</b>				
	○	1 ⑰	استان قم – جاده کاشان – روستای لنگرود	امامزاده بابا جمال 111
	○	1 ⑰	استان قم – جاده کاشان – روستای لنگرود	امامزادگان رقیه خاتون و حلیمه خاتون 112

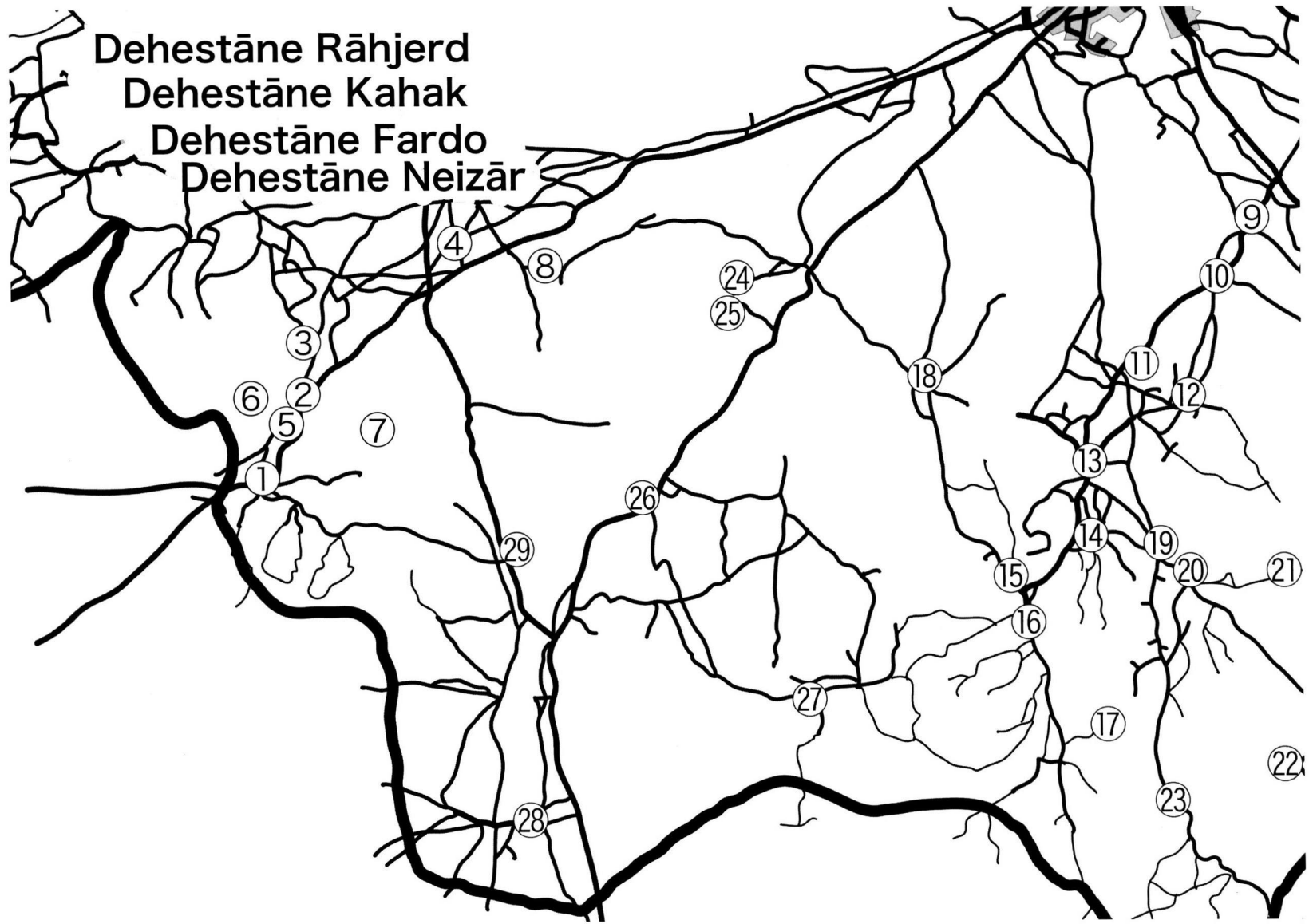
地図 聖所所在地地図 1～3 上での位置

※1 ワクフ慈善庁が管理している廟

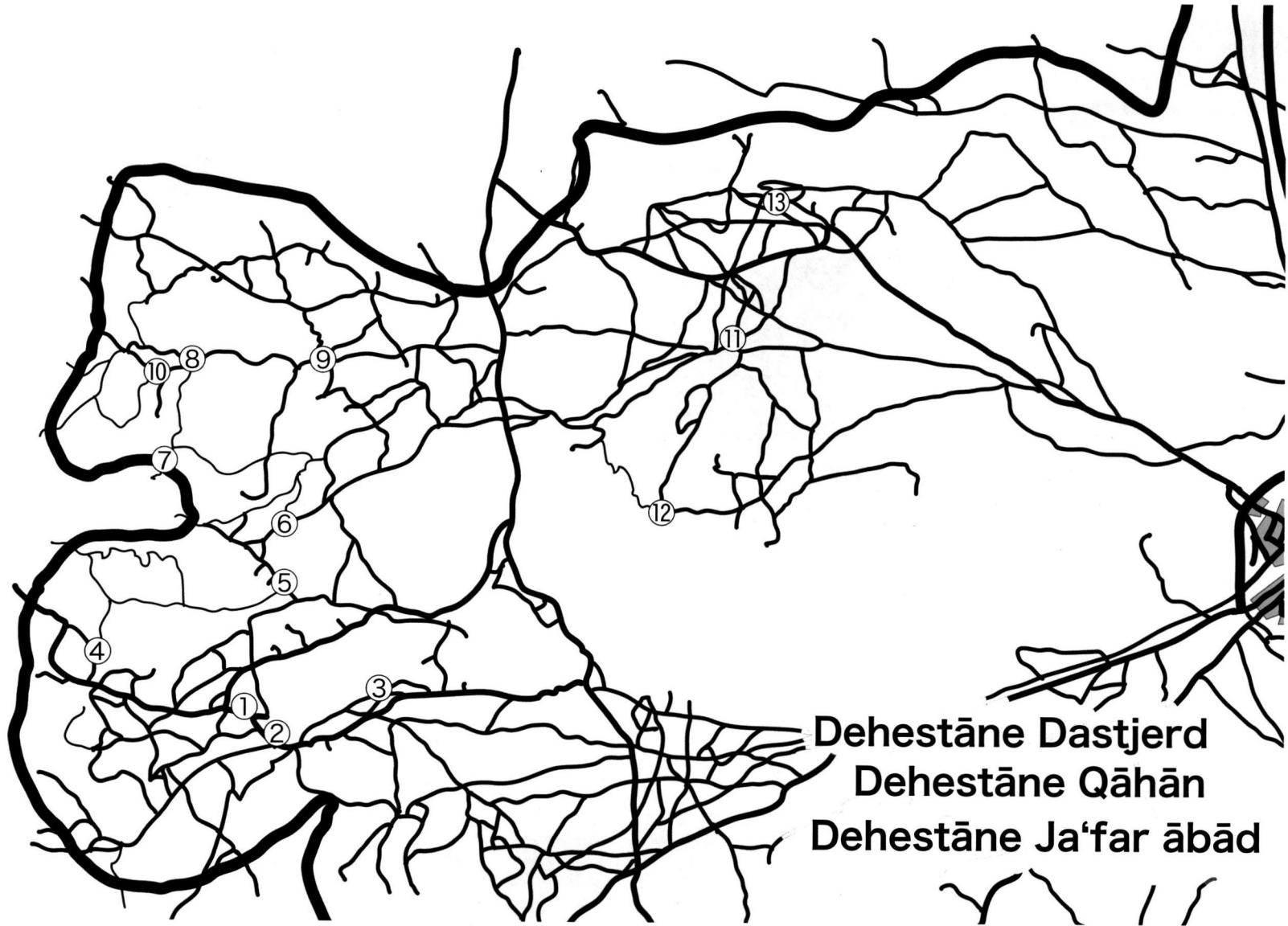
※2 文化遺産・観光庁が文化遺産登録をしている廟



Dehestāne Rāhjerd  
Dehestāne Kahak  
Dehestāne Fardo  
Dehestāne Neizār







Dehestāne Dastjerd  
Dehestāne Qāhān  
Dehestāne Ja'far ābād





典型的なゴム州のbiyābān。Emānzādegān Ahl 'Alī va Sahl 'AlīからHouze Soltān方面を見下ろす。写真左奥に見える白い部分がHouze Soltān。その向こうにある塩湖まで乾燥し、塩分が地表に吹き出したビヤーバーンが広がる。

## 聖所内に見られるもの

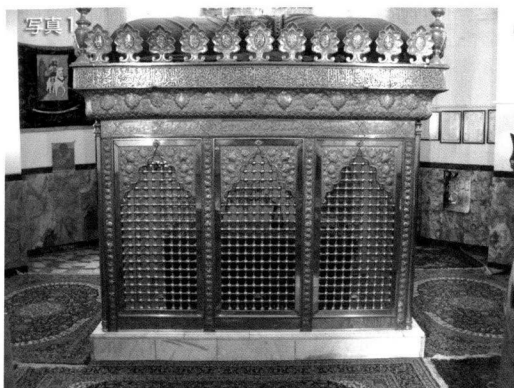


写真1 典型的なエスファハーン型ザリーの一つ。  
高さ約2メートルほど。ゴム市内のShāhẓāde Hamzeで。



写真2 金属製ザリーの一例。  
壁や天井の一部にアーイーネカーリーも見られる。  
テヘラン州ヴァラームーン郡Emānzāde Ya'qūbで。

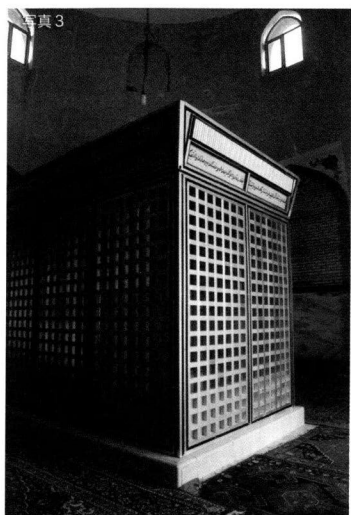


写真3 アルミ製ザリーの一例。比較的多く見られる形。  
格子の内側にガラスや金属がはられていることも多い。  
ゴム州Shāhẓāde Roqaiye va Shāhẓāde Āmene Khātūnで。

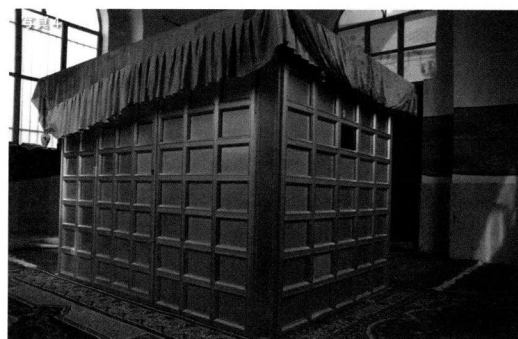


写真4 アルミ製ザリーの一例。墓石をアルミ製の箱で覆い隠す形。  
穴が空いているのはお金などを投げ入れるため。箱形なのでサンドゥーグと呼ばれるべきかもしれないが、ザリーと呼ばれているのでザリーで統一する。ゴム州Emānzāde Sho'eibで。



写真5 木製ザリーの一例。マルキャズィー州Shāhẓāde Esmā'īlで。

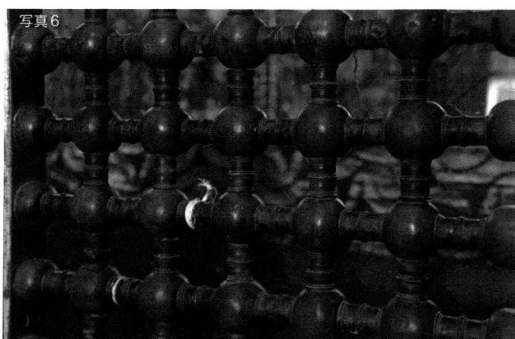


写真6 木製ザリーの一部。金属製ザリーへの交換が進んでいるため、こうした格子を作る職人も少なくなっているという。  
ゴム州Shāhẓāde Mūsāで。

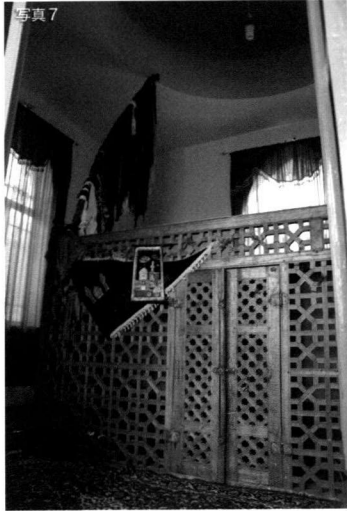


写真7 木製ザリーの一例。周囲だけを覆ったもので天井部分はいている。ザリーにびっしりと願い事やエマームザーデへの言葉が書かれている。ガズヴィーン州Emānzāde Ebrāhīmで。



写真8 木製サンドウグの一例。サンドウグは緑色の布ですっぽりと覆われていることが多く、このように全体が見えることは少ない。テヘラン州Emānzāde Ṭāherで。



写真9 敷地内の一角に置かれた木製サンドウグ。新しいザリーに取り替えられた後、まだ使用できる場合は他の聖所へと贈られることもあるが、たいていはそのままうち捨てられてしまう。



写真10 ザリー等なしに置かれた墓石。誰もが直接触れることができるが、こうした背の低い墓石の場合、ザリーを設置するまでの一時的な状態ということも多い。テヘラン州Emānzāde 'Alī Aṣgharで。



写真11 ザリーを持たない墓石。1メートルほどの高さのあるタイプ。このように大きなサイズになるのは、被埋葬者に対する敬意の表れと説明されることが多い。多くの場合、緑色の布で覆われている。

ゴム州Emānzādegān Roqaiye Khātūn va Ḥalīme Khātūnで。

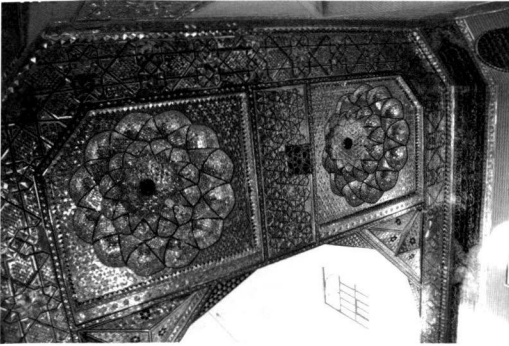


写真12 アーイーネカーリーで覆われた天井の一部。廟によってはこうしたアーイーネカーリーでハラム全体を覆っている。テヘラン州Emāmzāde Tāherで。



写真14

写真14 ギャッチポリで覆われたハラム。最近、修復が行われ、その際に真っ白にペンキで塗られた。ゴム州Shāhzāde Aḥmad b. Qāsemで。

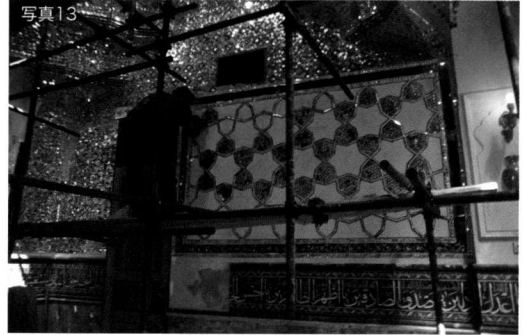


写真13

写真13 アーイーネカーリーを貼る職人。小さく切った鏡をずれがないよう一枚一枚手作業で貼り付けていく。テヘラン州Emāmzāde Zeidで。



写真15

写真15 墓地に囲まれた廟。聖所にはこのように墓地に囲まれたものが多く見られる。ゴム州Emāmzāde Khādīje Khātūnで。

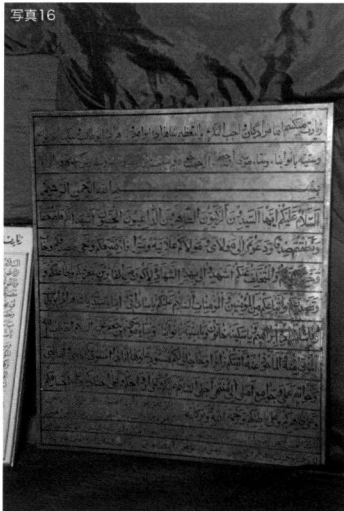


写真16

写真16 ズィヤーラト・ナーメの一例。金属板に書かれたもの。エマームザーデの血統が最上部に、その下にはズィヤーラトに伴って詠まれるドーアが書かれている。ゴム州Emāmzāde Ebrāhīmで。

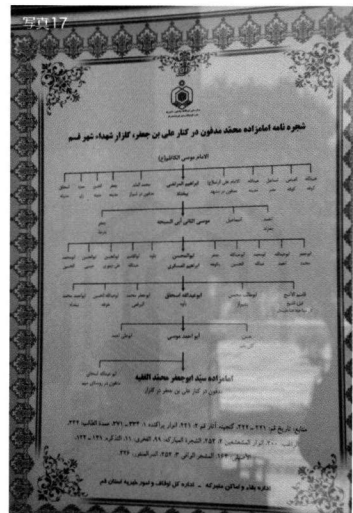


写真17

写真17 ワクフ慈善庁が作成、配布しているシャジャレ・ナーメ。これがあるかどうかエマームザーデの真正性を決めるように見なされ始めている。

## ゴム市東部地区 (Qesmate Sharqīye Rūdkhāne) の聖所



写真18 Hazrate Ma'sūme廟。バーザール側より。国内外からズィヤーラトのために人々が集まってくる。廟の周囲には、そうした人々相手の土産物屋や宿屋が軒を並べている。

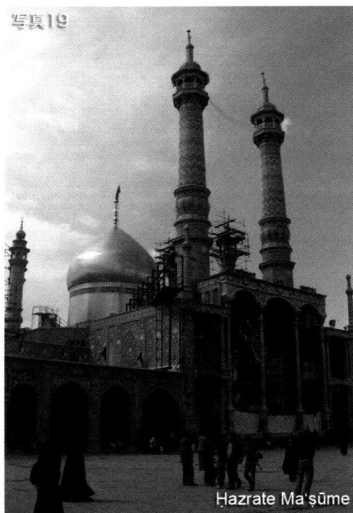


写真19 Hazrate Ma'sūme廟。Şahn内の廟の正面側より。タイルとアーイーネカーリーで飾られた廟は、常にどこかで増改築工事が行われている。

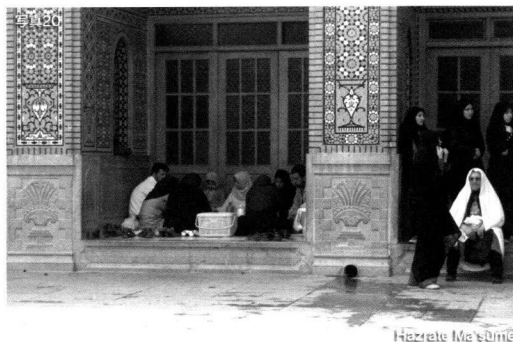


写真20 Hazrate Ma'sūme廟。Şahn内で弁当を広げる家族。廟内での煮炊きは禁じられているが弁当の持ち込みは大目に見られている。休日や長期休暇の時にはこうした家族連れが多く見られる。



写真21 Hazrate Ma'sūme廟の周囲をめぐる棺。廟の外をめぐり、ハラム内を練り歩いてから墓地へと運ばれる。イラン各地からゴムに葬られるため、こうした棺が毎日のように運ばれてくる。



写真22 Shāhẓāde Solṭān Moḥammad Sharīf. 自動車のすれ違いも難しいような細い路地の中にあることが分かる。

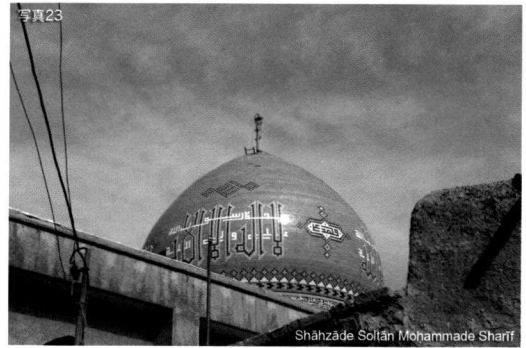


写真23 Shāhẓāde Solṭān Moḥammad Sharīf. ドームの改装が終わり、青いタイル張りとなった。



写真24 Emāmẓāde 'Alī b. Ja'far. 正面から。ゴムで最も古い、代表的な聖所の一つ。廟の周囲の石畳は全て墓地で、墓を避けて歩くのが困難なほどびっしりと墓石が並んでいる。

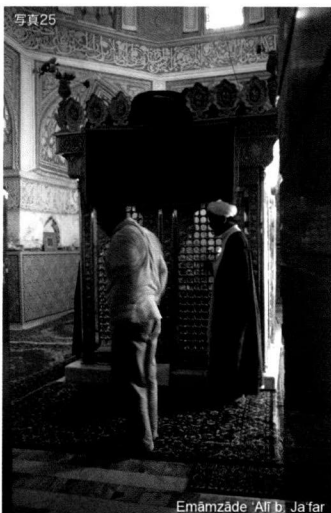


写真25 Emāmẓāde 'Alī b. Ja'far. エスファハーン型のザリーが置かれたハラム。昼時には、それほど広くないハラム内では、礼拝に訪れた人が入れ替わり立ち替わり礼拝を行う。

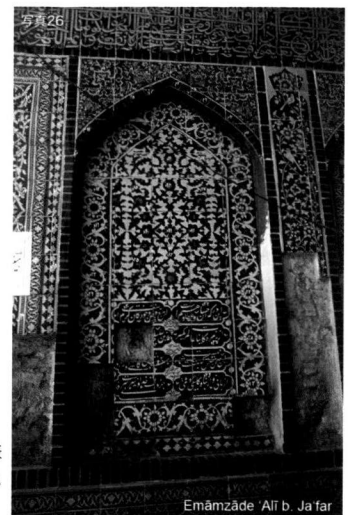


写真26 Emāmẓāde 'Alī b. Ja'far. エイヴァーンに貼られたコバルト色のタイル。タイル表面の白い数字は、イラン文化遺産観光庁による修復のためのナンバリング。

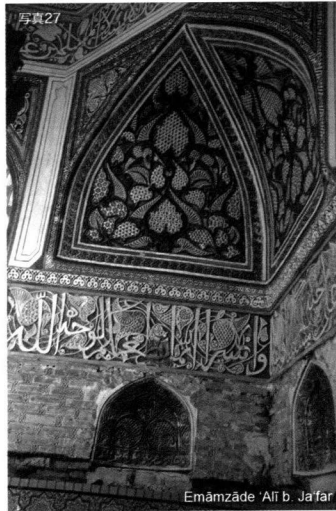


写真27 Emāmzāde 'Alī b. Ja'far。  
ハラム内の彩色を施されたギャッチボリ  
ー。これほどの多色使いも珍しい。

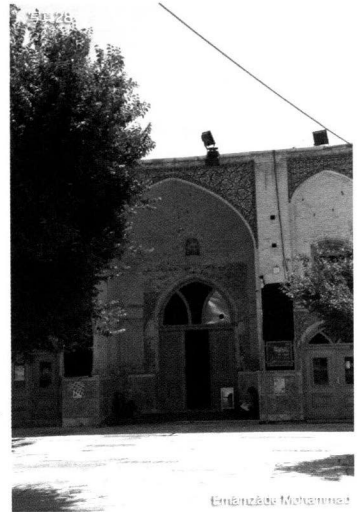


写真28 Emāmzāde Moḥammad。  
正面入り口。Emāmzāde 'Alī b. Ja'far  
の入り口に向かって左手にある。



写真29 Emāmzāde Moḥammad。横手から。手前に見える煉瓦の  
低い丸ドーム部分。以前は二つの廟は独立していたというが、  
現在は一つながりの廟となっている。

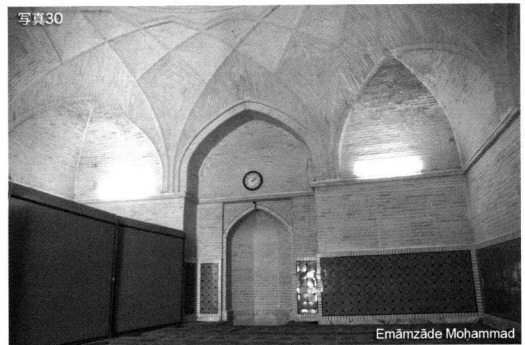


写真30 Emāmzāde Moḥammad内部。改修が行われ、独立した  
聖所ではなく、Emāmzāde 'Alī b. Ja'farに付属した空間となっ  
ている。



写真31 Shāhẓāde Ebrāhīm。正面から。  
ゴム州でよく見られる角錐ドームを持つ塔状の廟。  
周囲にびっしりと墓石が敷き詰められている。

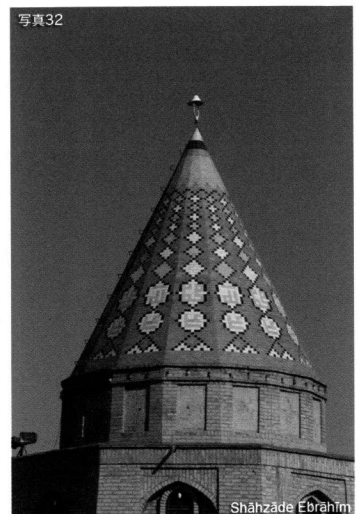


写真32 Shāhẓāde Ebrāhīmの  
ドーム部分。近年修復が行われ、  
タイルが貼り直された。



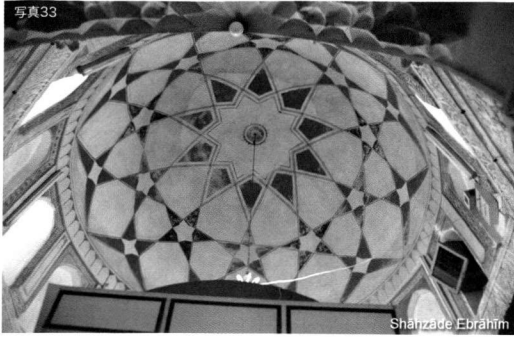


写真33 Shāh-zāde Ebrāhīm。ドーム内部。周囲をギャッチボリーで取り囲み、天井部分には彩色された幾何学紋様が見られるが、こうした文様のドームはゴムでは意外と珍しい。



写真34 Shāh-zāde Ebrāhīm。裏手から。道路を挟んでGonbade Sabzのドームが見える。写真右に見える柳の木の上に右手寄りに Emām-zāde 'Alī b. Ja'farがある。

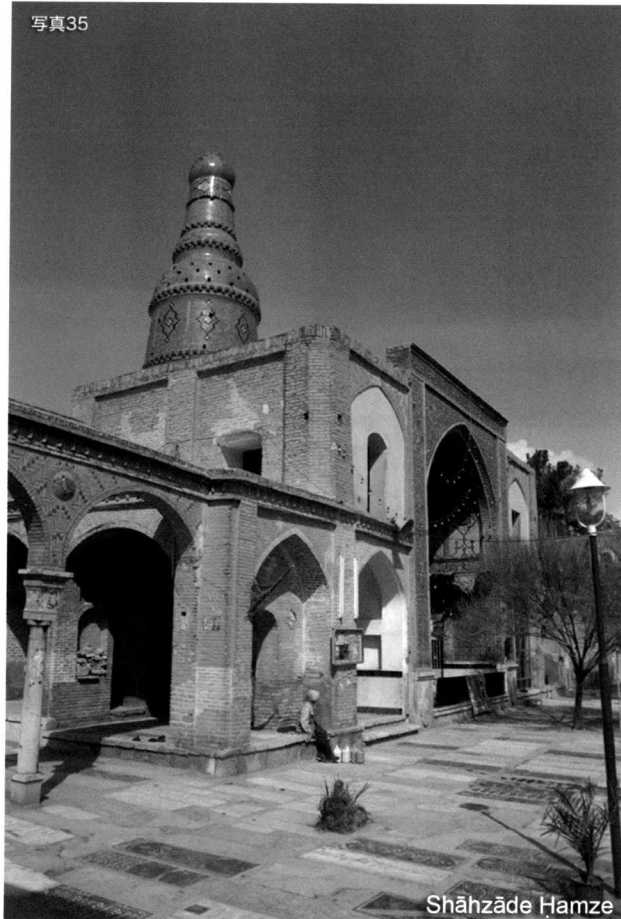


写真35 Shāh-zāde Hamze。変わった形のドームが目印だが、最近では周囲の建物の埋もれてしまっている。昼の礼拝時間頃は、パーザールで働く人々や買い物婦の人々が、正面エイヴァーンに触れながら祈ったり、胸に手を当てて一礼したりして廟の前を通り過ぎていく様子が見られる。